

# 2025年に向けた対応方針に係る検討の進め方【案】 参考資料（圏域別）

～各医療機関の対応方針の策定・検証・見直し～

東京都福祉保健局医療政策部

# 目次

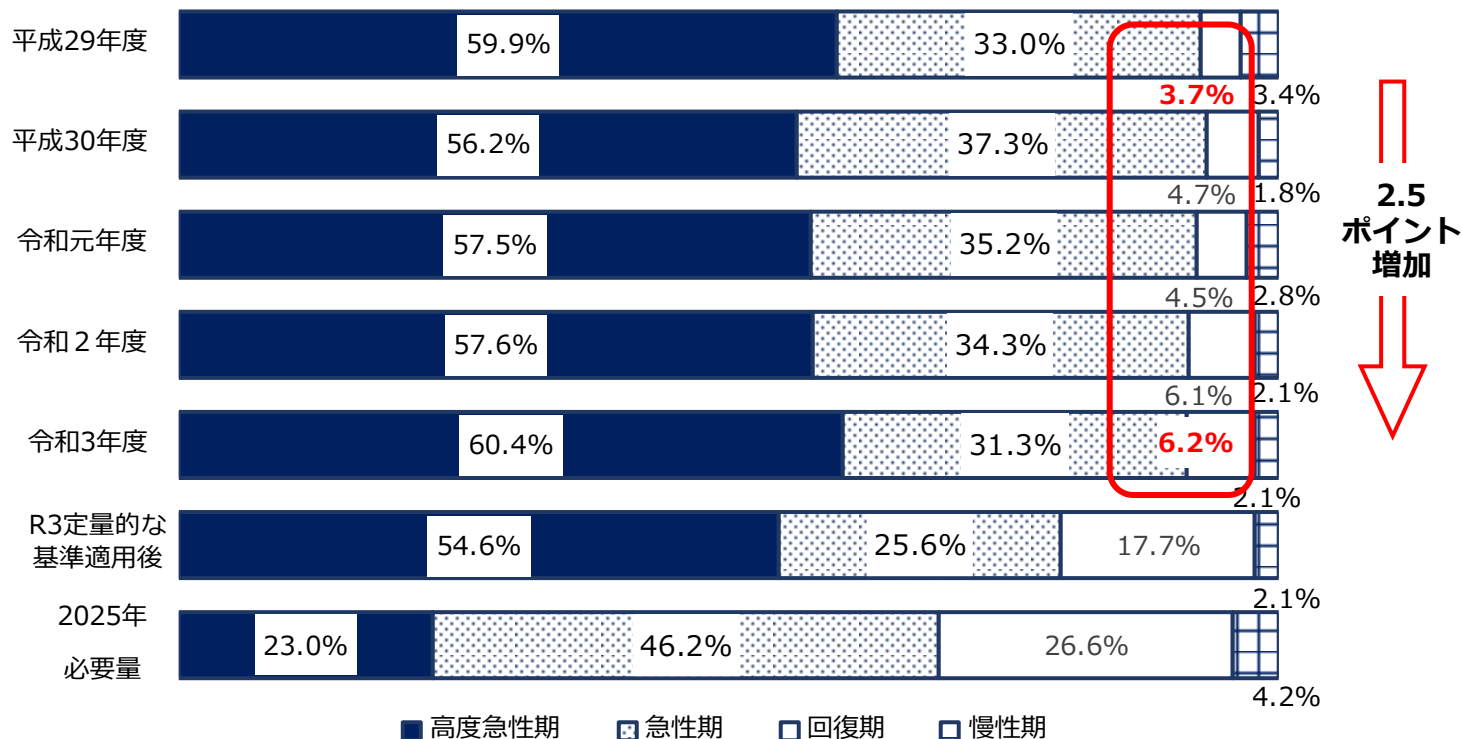
---

区中央部	2
区南部	6
区西南部	10
区西部	14
区西北部	18
区東北部	22
区東部	26
西多摩	30
南多摩	34
北多摩西部	38
北多摩南部	42
北多摩北部	46

# 【区中央部】病床の機能分化の進捗状況①

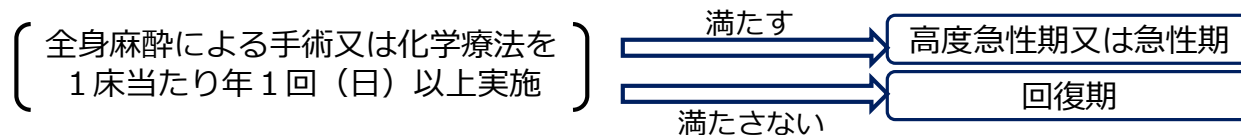
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 2.5ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

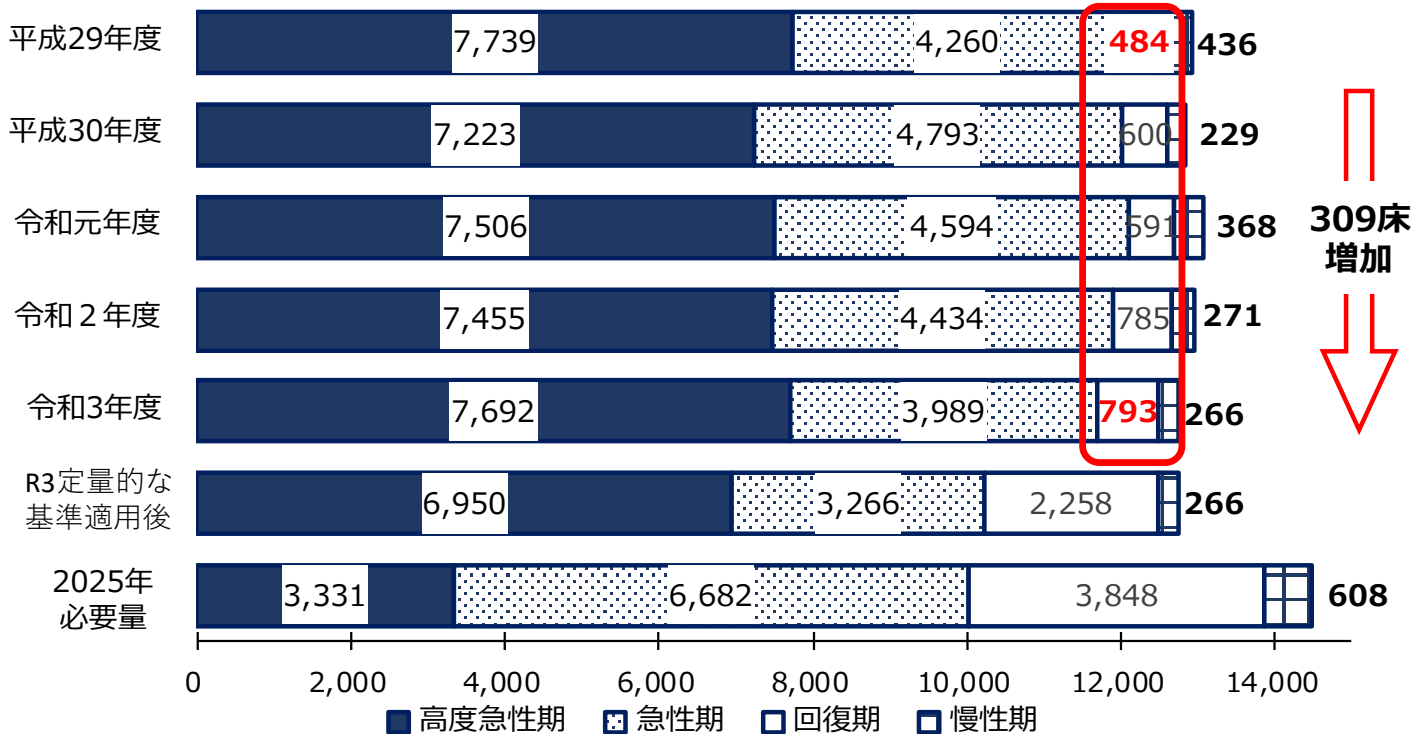


（出所）病床機能報告より作成

## 【区中央部】 病床の機能分化の進捗状況②

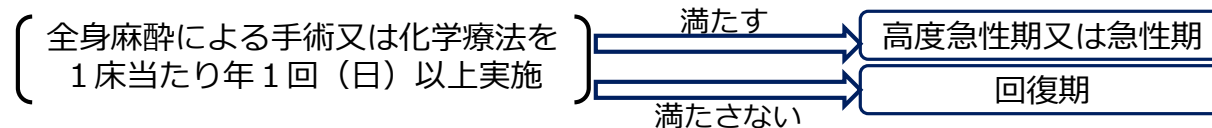
- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 309床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

# 【区中央部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 2施設 22床 入院料 1 5施設 93床  
入院料 4 4施設 53床 入院料 3 1施設 12床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 9施設 111床  
管理料 2 1施設 16床  
管理料 3 7施設 84床  
管理料 4 1施設 18床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 12施設 155床  
管理料 2 0施設 0床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

3施設 21床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 15床  
新生児 3施設 45床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 14床  
管理料 2 2施設 9床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

6施設 120床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 7施設 4,854床

### 専門病院入院基本料

7対1 1施設 773床

### 急性期一般入院料 1

16施設 4,109床

**24施設 9,736床**

### 急性期一般入院料 2～7

9施設 392床

### 地域一般入院料

入院料 1・2 0施設 0床  
入院料 3 3施設 215床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 3施設 187床  
入院料 2 5施設 168床  
入院料 3 2施設 50床  
入院料 4 1施設 18床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 3施設 138床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 1施設 40床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 2施設 81床 入院料 6 0施設 0床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 106床 入院料 3 0施設 0床  
入院料 2 7施設 300床 入院料 4 0施設 0床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 6施設 114床  
入院料 2 0施設 0床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

### 有床診療所入院基本料

13施設 140床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 5施設 222床  
基本料 2 0施設 0床

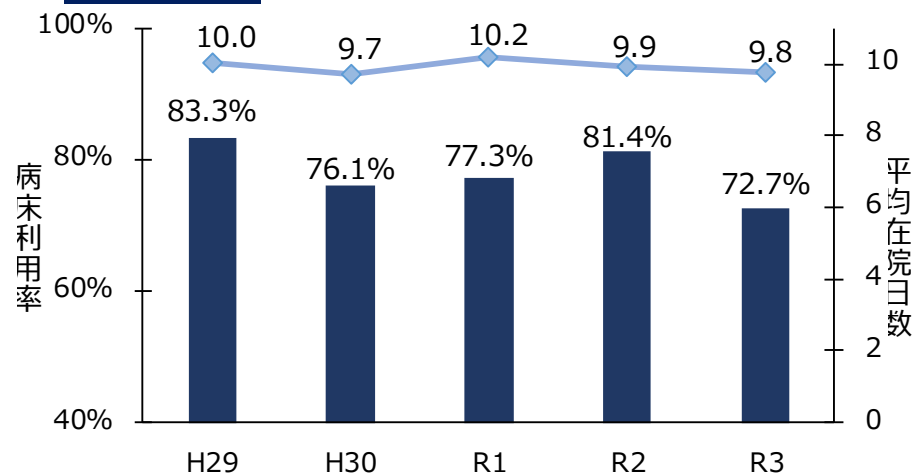
### 有床診療所療養病床入院基本料

1施設 11床

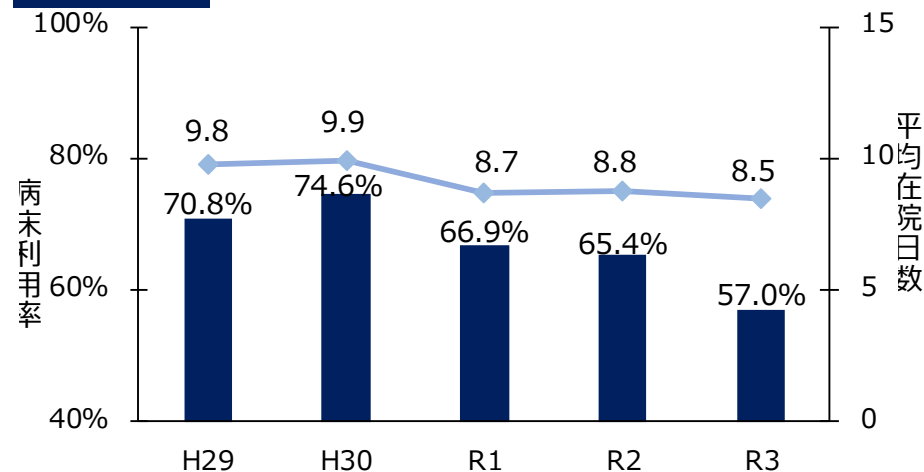
**DPC/PDCS 20施設 10,478床**

# 【区中央部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

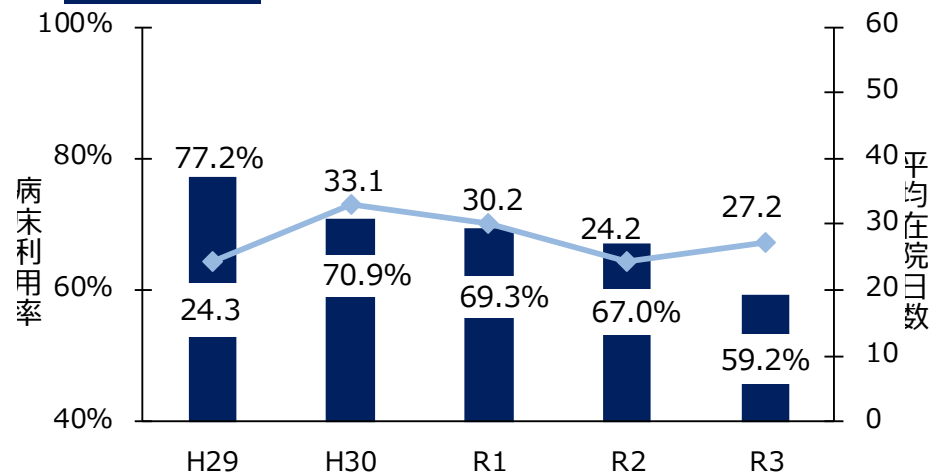
## 高度急性期



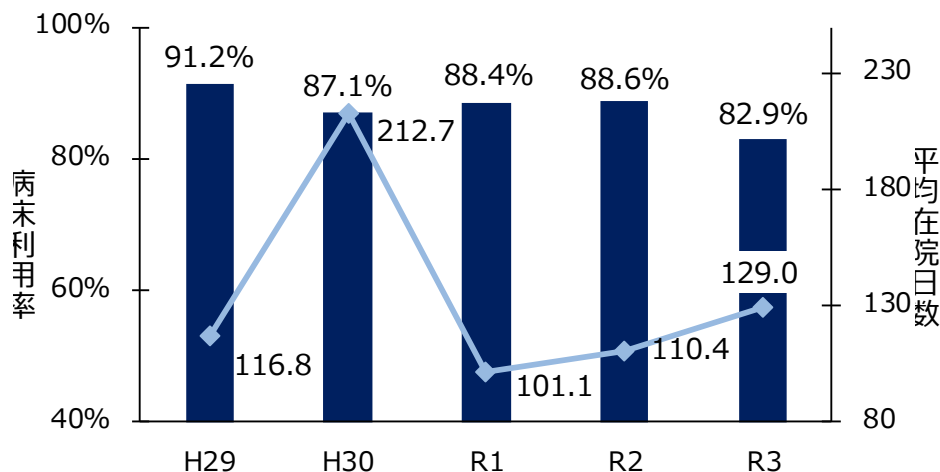
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

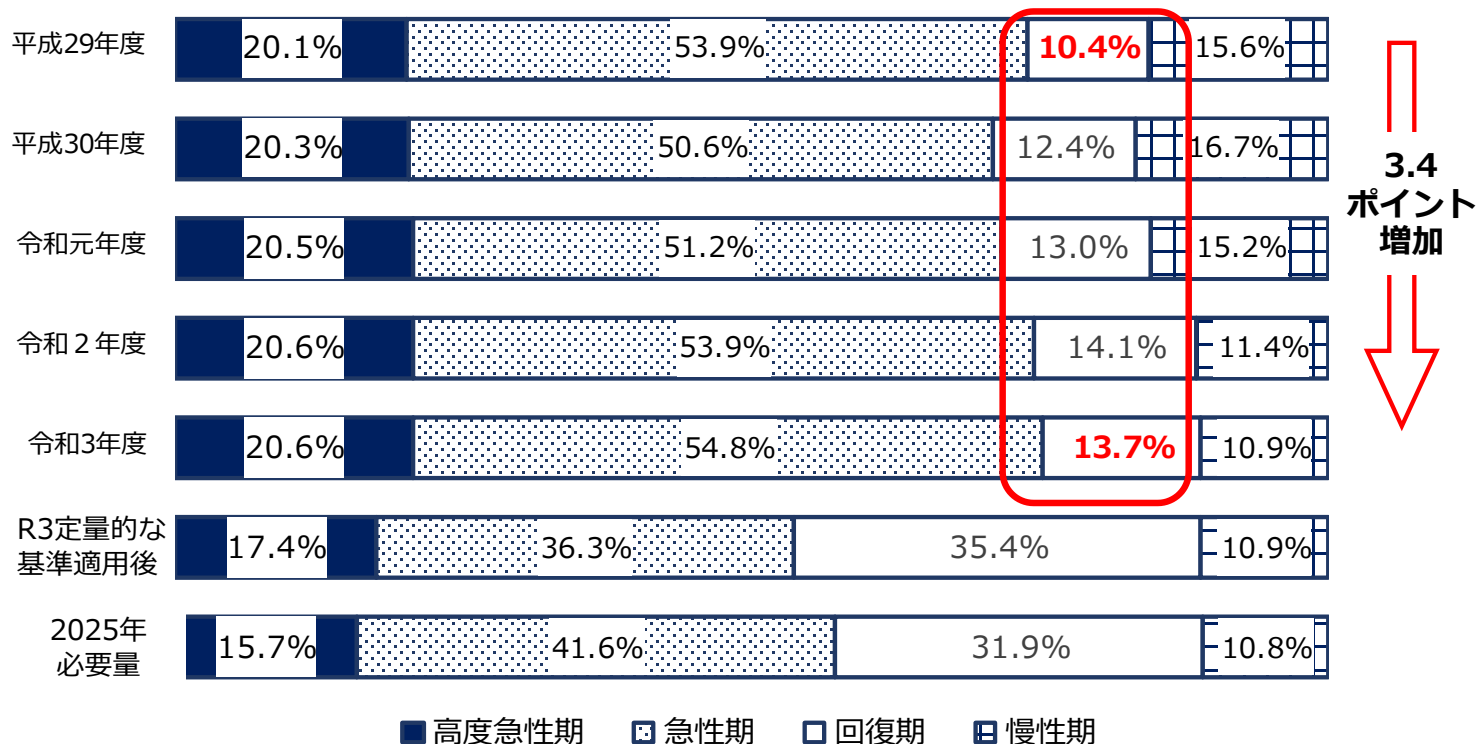
平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

病床利用率  
 平均在院日数（右軸）  
 （出所）病床機能報告より作成

# 【区南部】 病床の機能分化の進捗状況①

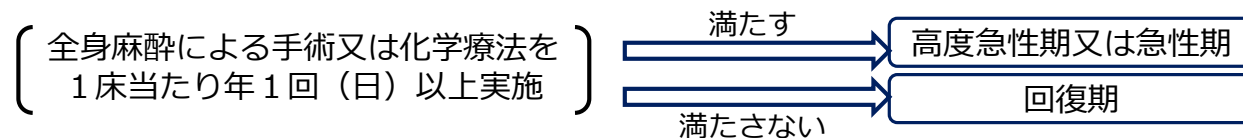
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 3.4ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値

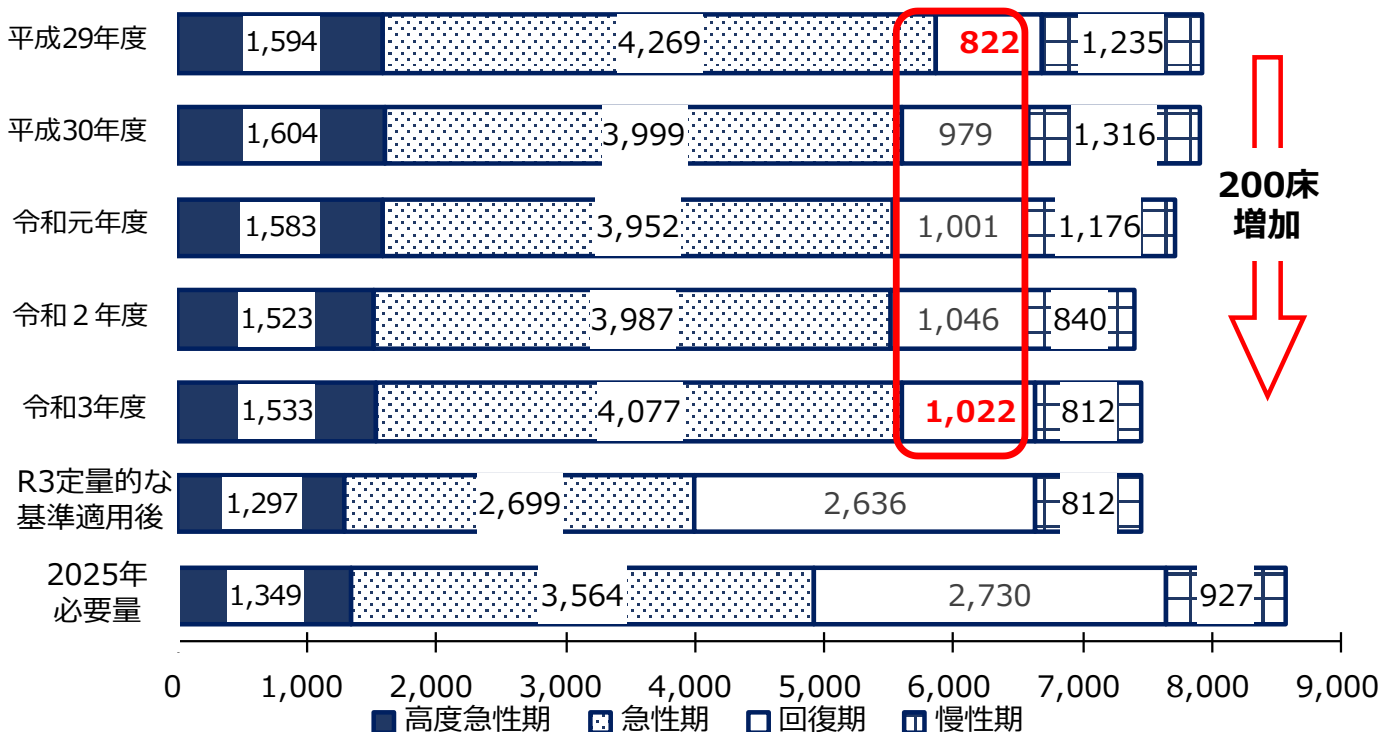


（出所）病床機能報告より作成

## 【区南部】 病床の機能分化の進捗状況②

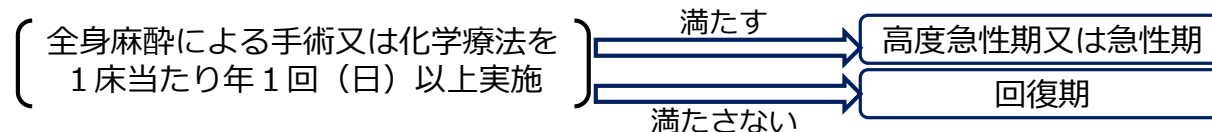
- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 200床増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成



# 【区南部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 13床  
入院料 4 1施設 6床 入院料 3 1施設 14床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 2施設 24床  
管理料 2 1施設 9床  
管理料 3 6施設 54床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 8施設 126床  
管理料 2 0施設 0床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

1施設 12床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 18床  
新生児 2施設 30床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 0施設 0床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

2施設 45床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 2施設 1,346床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

13施設 2,809床

**15施設 4,155床**

### 急性期一般入院料 2～7

9施設 542床

### 地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 20床  
入院料 3 3施設 83床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 97床  
入院料 2 0施設 0床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 1施設 13床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 590床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 1施設 84床 入院料 6 0施設 0床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 129床 入院料 3 0施設 0床  
入院料 2 6施設 232床 入院料 4 0施設 0床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 16床  
入院料 2 0施設 0床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 3施設 155床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

### 有床診療所入院基本料

10施設 97床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 10施設 628床  
基本料 2 1施設 46床

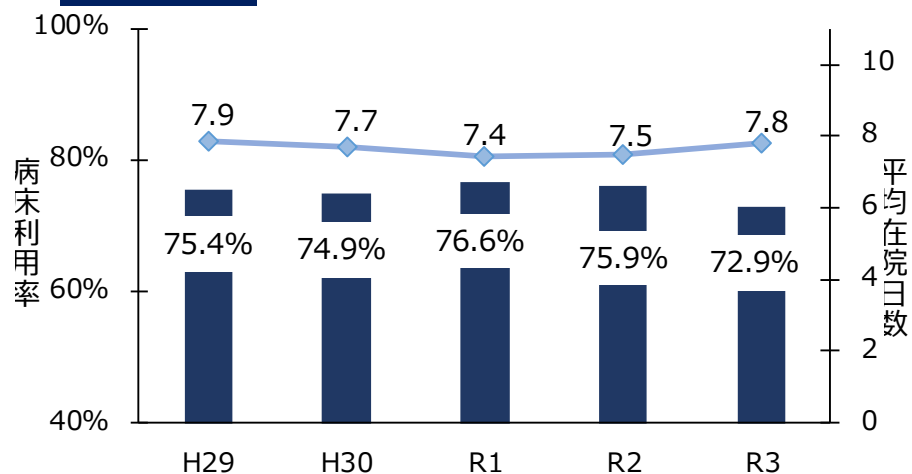
### 有床診療所療養病床入院基本料

1施設 19床

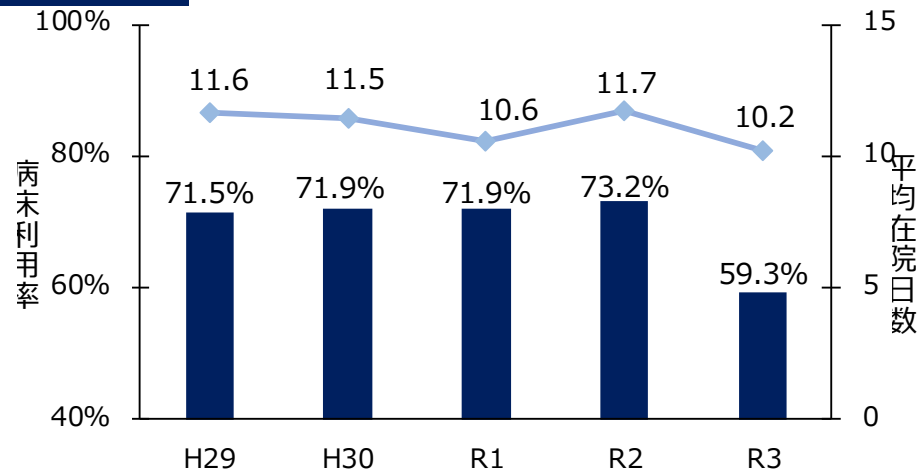
**DPC/PDCS 16施設 4,706床**

# 【区南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

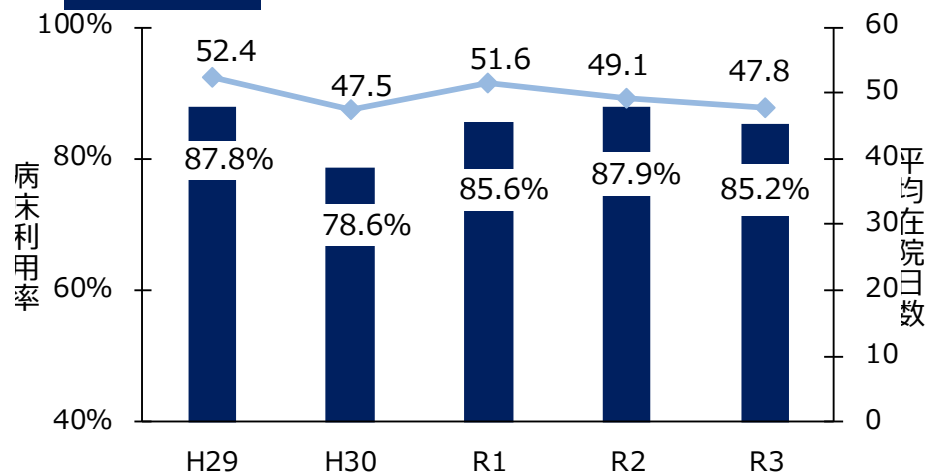
## 高度急性期



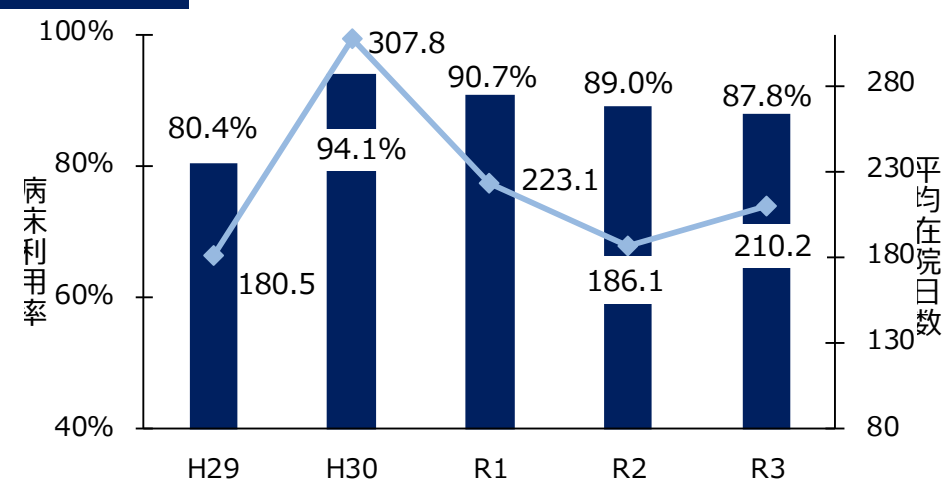
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

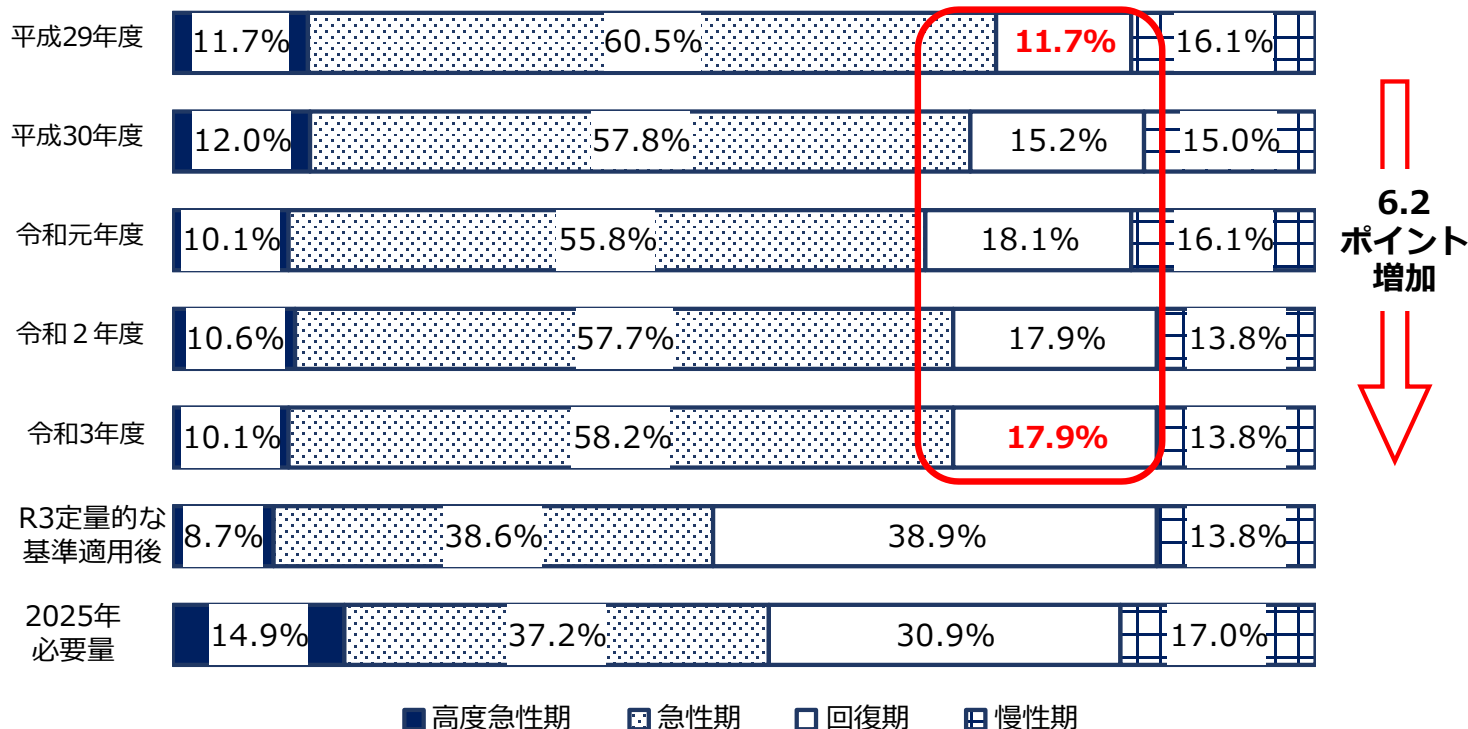
■ 病床利用率  
—◆— 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

# 【区西南部】病床の機能分化の進捗状況①

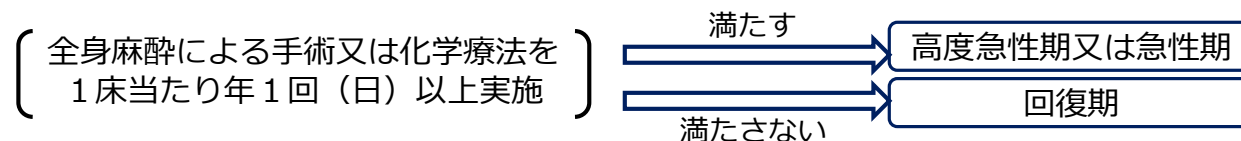
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 6.2ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

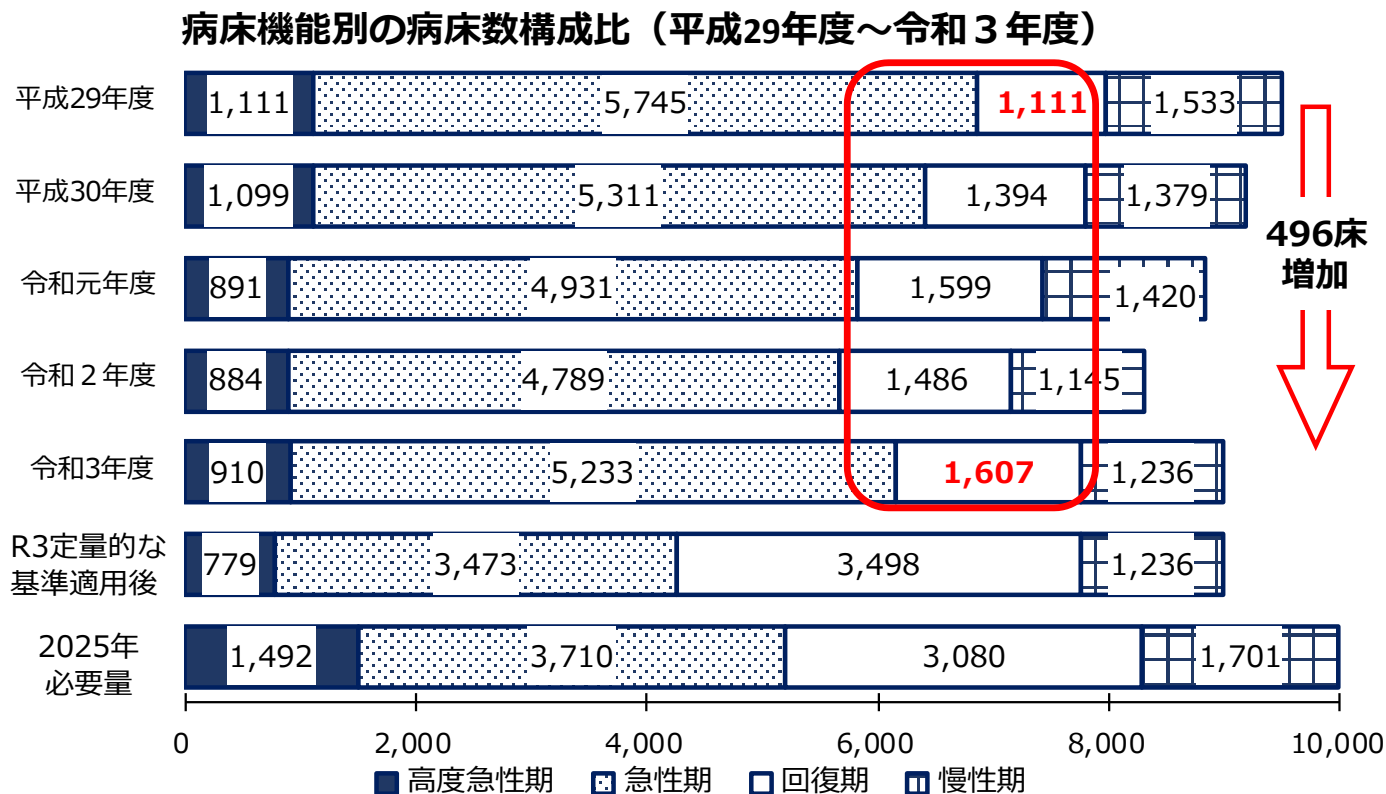
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

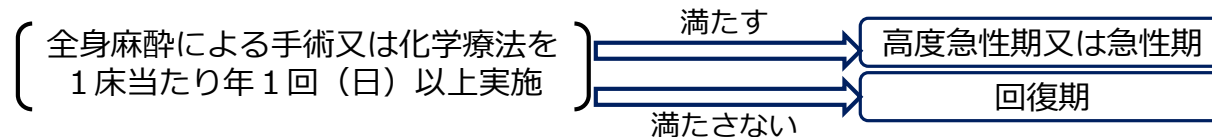
## 【区西南部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 496床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

# 【区西南部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 1施設 6床 入院料 1 2施設 34床  
入院料 4 2施設 16床 入院料 3 1施設 18床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 3施設 26床  
管理料 2 0施設 0床  
管理料 3 3施設 22床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット

#### 入院医療管理料

管理料 1 5施設 61床  
管理料 2 0施設 0床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

15施設 3,969床

**15施設3,969床**

### 急性期一般入院料 2～7

17施設 1,078床

### 地域一般入院料

入院料1・2 0施設 0床  
入院料 3 2施設 140床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 326床  
入院料 2 0施設 0床  
入院料 3 1施設 33床  
入院料 4 3施設 53床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 7施設 910床 入院料 4 1施設 10床  
入院料 2 2施設 107床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 0施設 0床 入院料 6 1施設 26床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 5施設 185床 入院料 3 0施設 0床  
入院料 2 10施設 355床 入院料 4 0施設 0床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 18床  
入院料 2 1施設 19床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 3施設 238床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

### 有床診療所入院基本料

18施設 199床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 10施設 855床  
基本料 2 0施設 0床

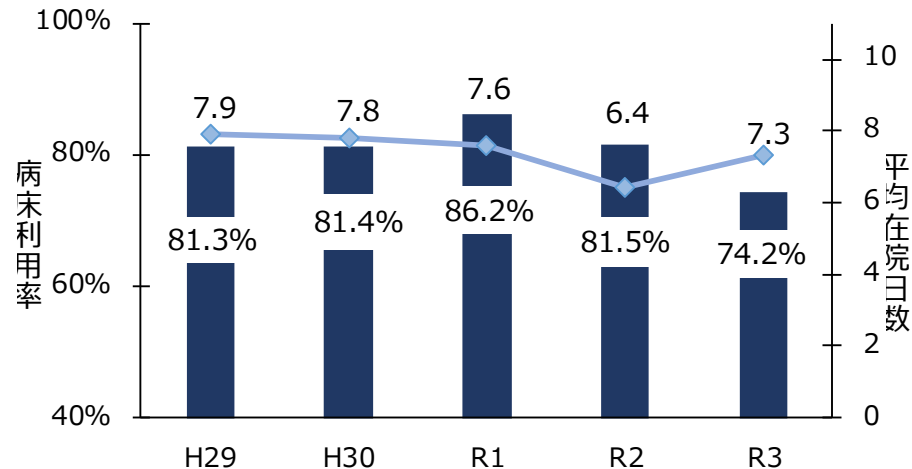
### 有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

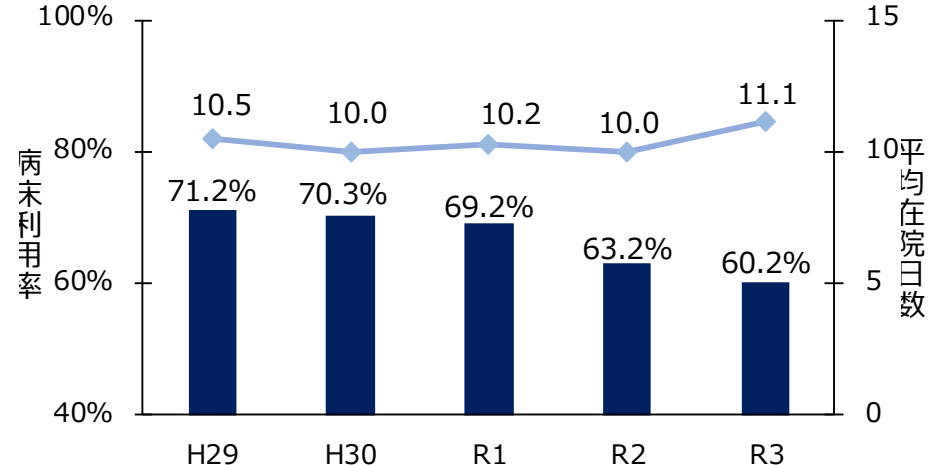
**DPC/PDCS 16施設4,568床**

# 【区西南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

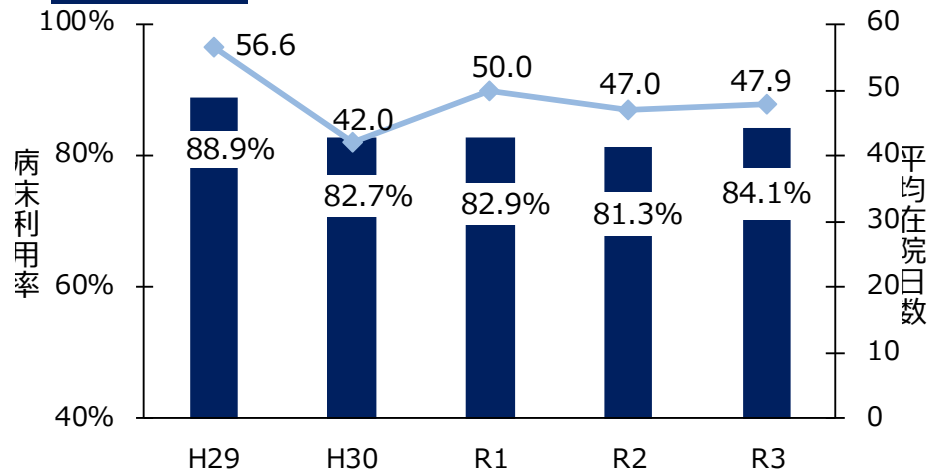
## 高度急性期



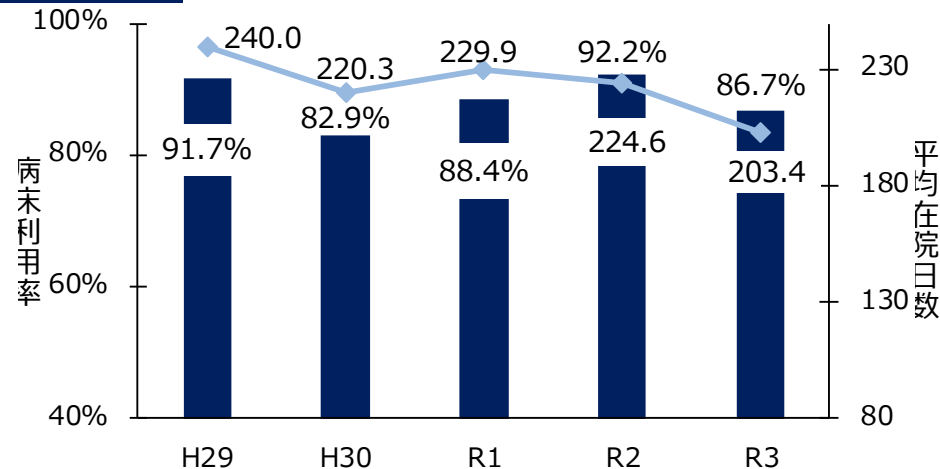
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

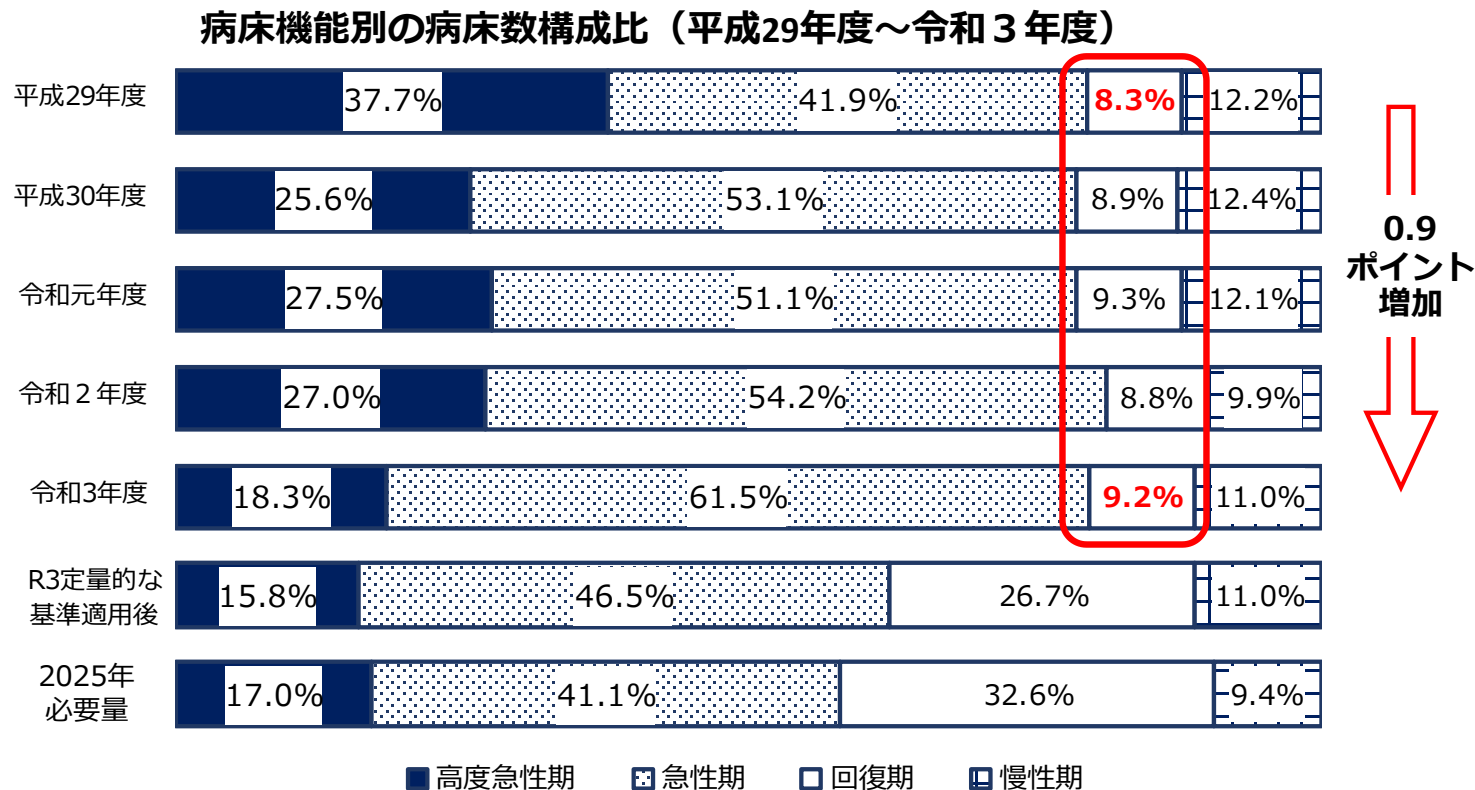
平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

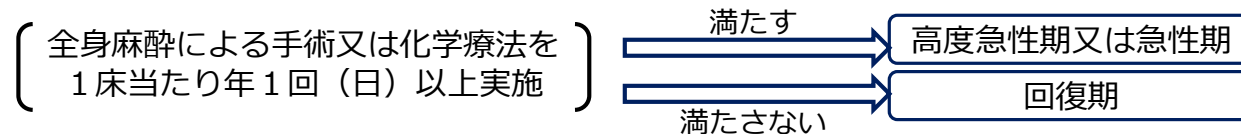
# 【区西部】 病床の機能分化の進捗状況①

- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 0.9ポイント増



注1 令和3年度は、速報値

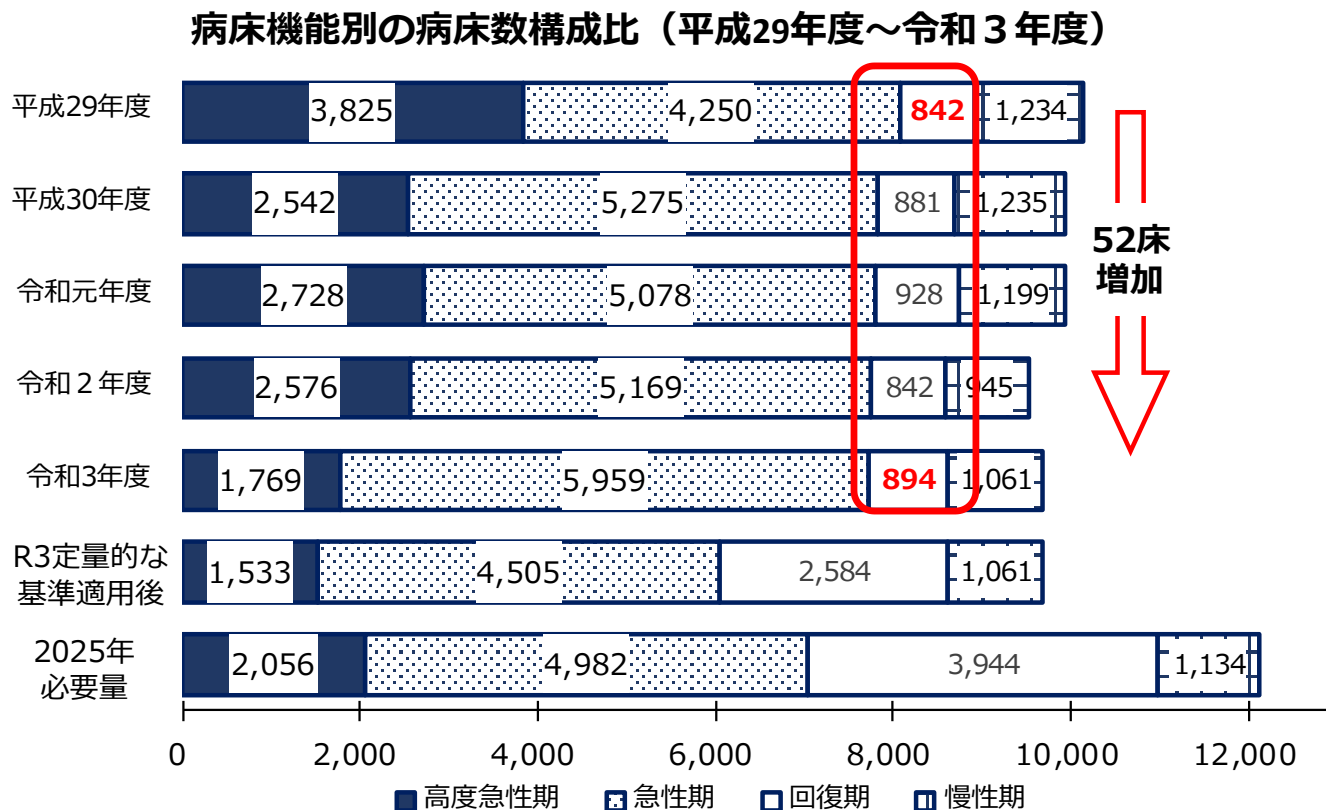
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

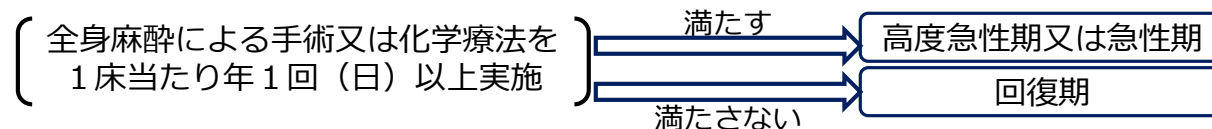
## 【区西部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 52床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成



# 【区西部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 1施設 12床 入院料 1 1施設 32床  
入院料 4 1施設 20床 入院料 3 0施設 0床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 4施設 58床  
管理料 2 1施設 10床  
管理料 3 8施設 75床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット

#### 入院医療管理料

管理料 1 8施設 141床  
管理料 2 0施設 0床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 3施設 2,121床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

14施設 3,817床

**17施設5,938床**

### 小児特定集中治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット

#### 入院医療管理料

3施設 35床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 3施設 21床  
新生児 2施設 27床

### 急性期一般入院料 2～7

10施設 429床

### 地域一般入院料

入院料1・2 0施設 0床  
入院料 3 1施設 18床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 3施設 195床  
入院料 2 0施設 0床  
入院料 3 1施設 21床  
入院料 4 3施設 52床

### 新生児特定集中治療室管理料

管理料 1 2施設 18床  
管理料 2 0施設 0床

### 新生児治療回復室

#### 入院医療管理料

1施設 21床

**DPC/PDCS 15施設6,590床**

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 468床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 2施設 87床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 2施設 100床 入院料 6 0施設 0床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 92床 入院料 3 1施設 32床  
入院料 2 7施設 316床 入院料 4 1施設 24床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 2施設 40床  
入院料 2 2施設 40床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

### 有床診療所入院基本料

14施設 130床

### 療養病棟入院基本料

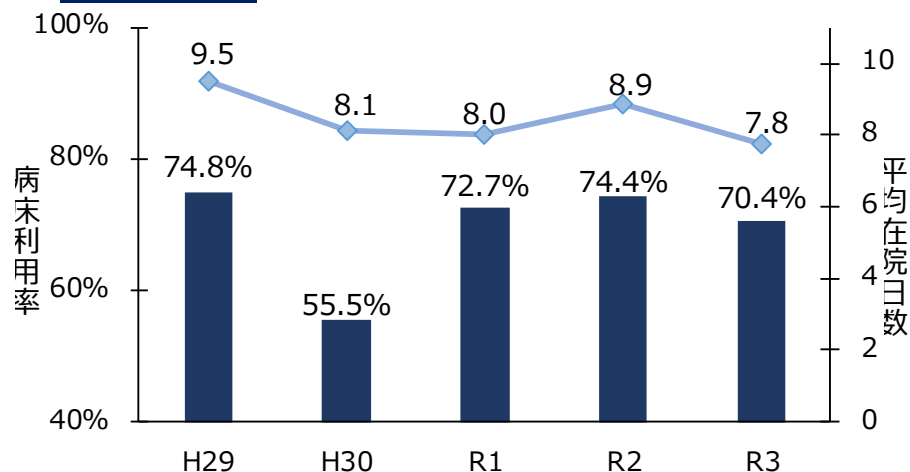
基本料 1 8施設 806床  
基本料 2 2施設 151床

### 有床診療所療養病床入院基本料

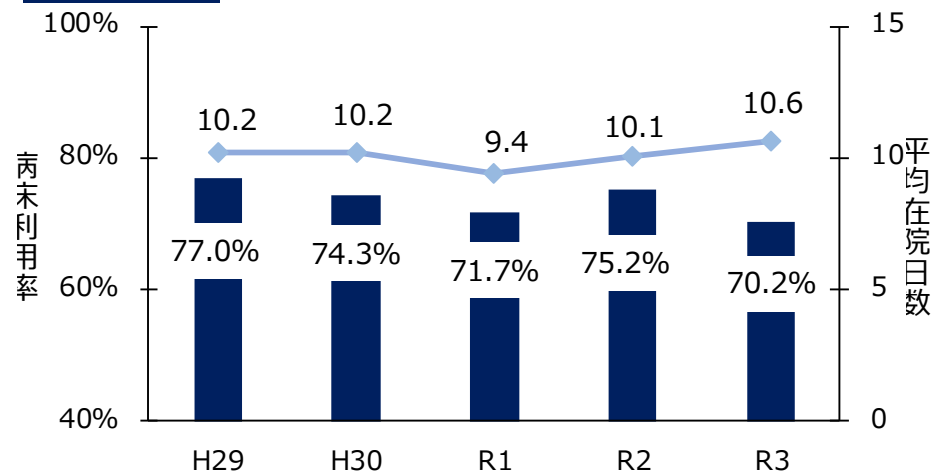
0施設 0床

# 【区西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

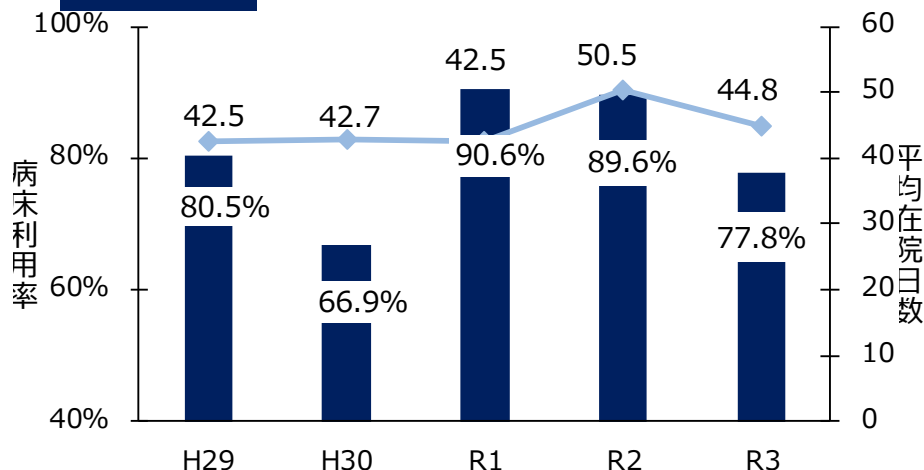
## 高度急性期



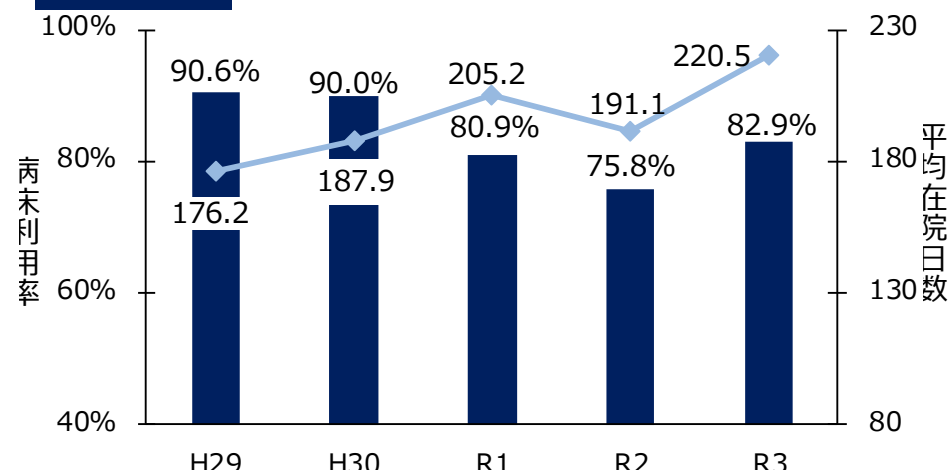
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

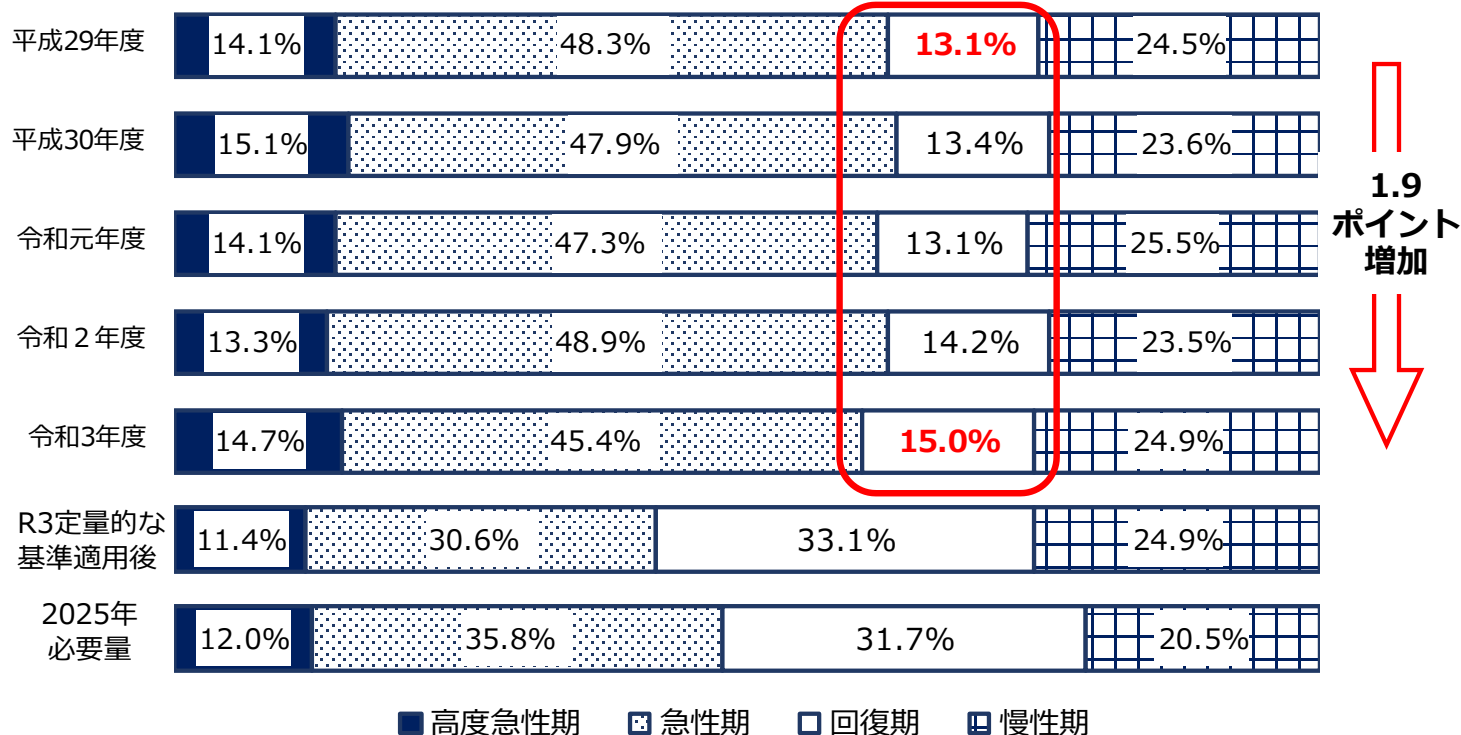
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

# 【区西北部】 病床の機能分化の進捗状況①

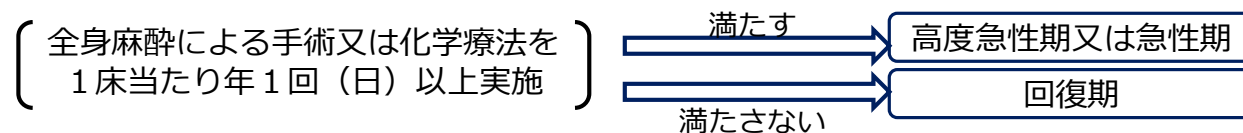
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 1.9ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

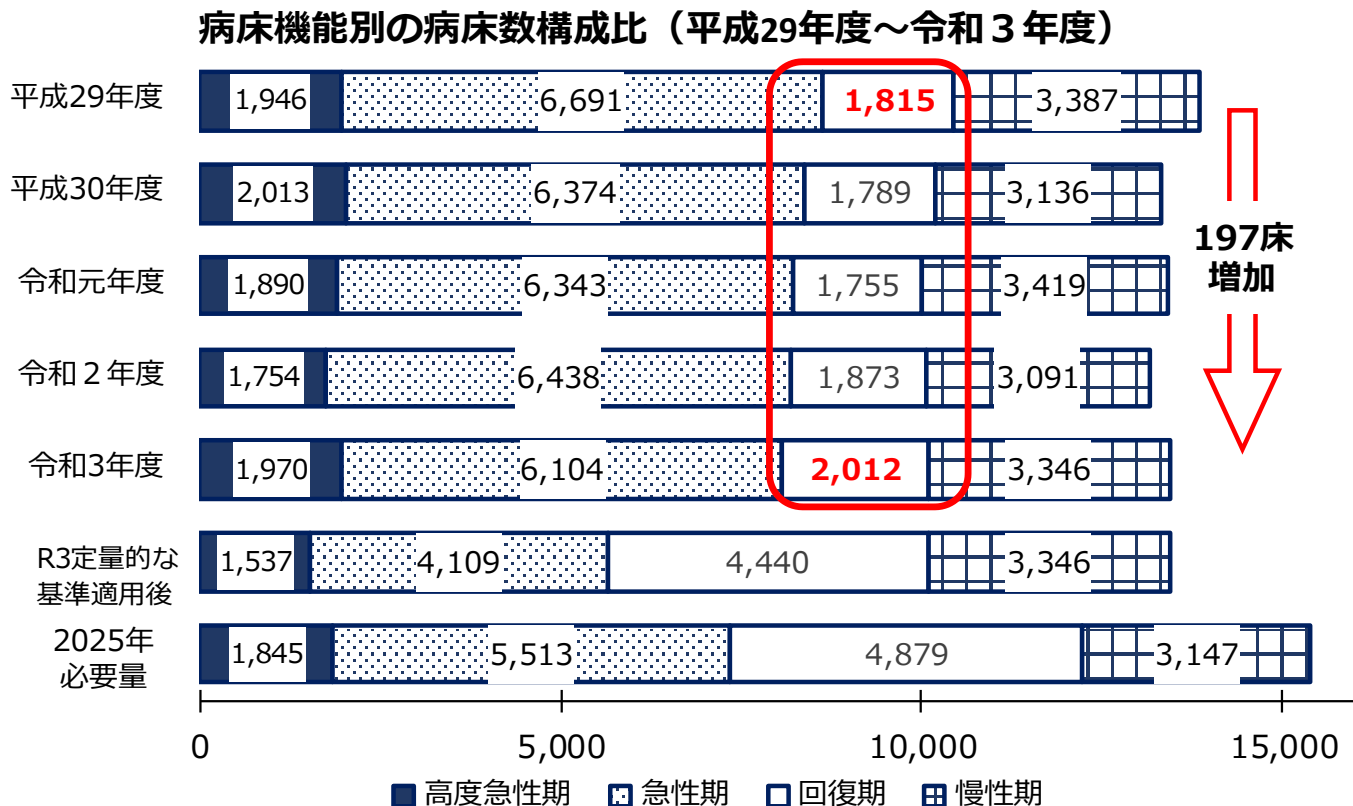
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

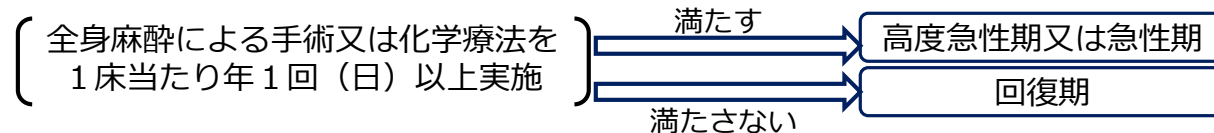
## 【区西北部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 197床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

# 【区西北部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 14床  
入院料 4 2施設 38床 入院料 3 0施設 0床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 0施設 0床  
管理料 3 8施設 62床  
管理料 4 2施設 20床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 5施設 89床  
管理料 2 0施設 0床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

4施設 28床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 3施設 25床  
新生児 3施設 39床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 2施設 12床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

4施設 90床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 2施設 1,637床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

11施設 3,421床

**13施設5,058床**

### 急性期一般入院料 2～7

20施設 1,126床

### 地域一般入院料

入院料1・2 7施設 417床  
入院料 3 11施設 454床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 99床  
入院料 2 3施設 98床  
入院料 3 1施設 31床  
入院料 4 1施設 19床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 11施設 1,062床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 5施設 200床 入院料 6 1施設 110床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 12施設 462床 入院料 3 1施設 8床  
入院料 2 6施設 135床 入院料 4 0施設 0床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 3施設 65床  
入院料 2 0施設 0床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 120床  
入院料 2 7施設 347床  
入院料 3 1施設 60床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

1施設 28床

### 有床診療所入院基本料

24施設 297床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 26施設 1,983床  
基本料 2 5施設 367床

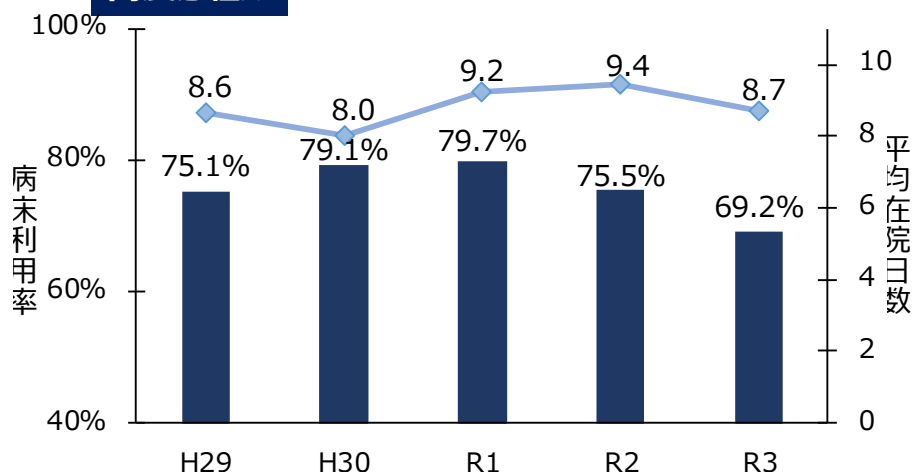
### 有床診療所療養病床入院基本料

1施設 10床

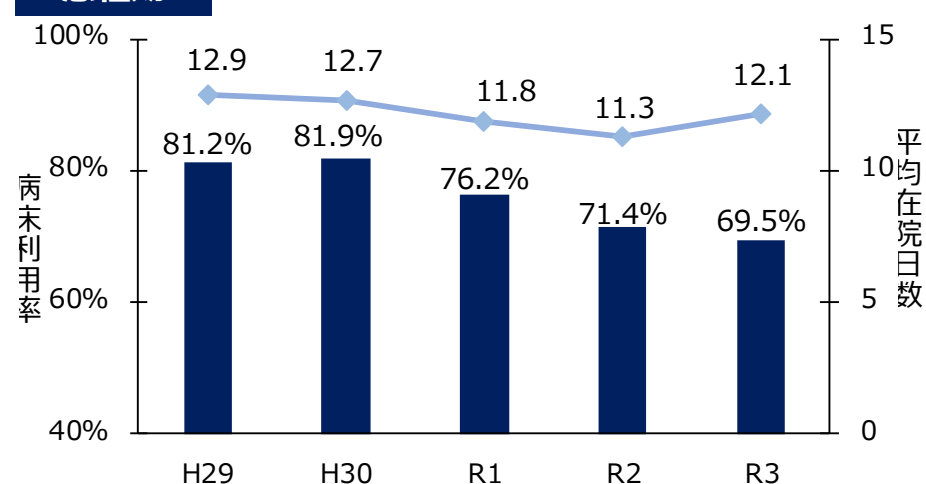
DPC/PDCS 14施設5,714床

# 【区西北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

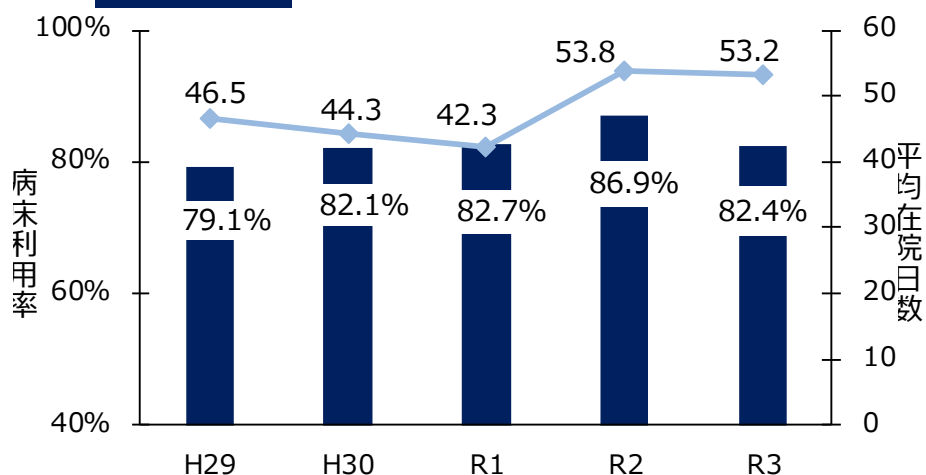
## 高度急性期



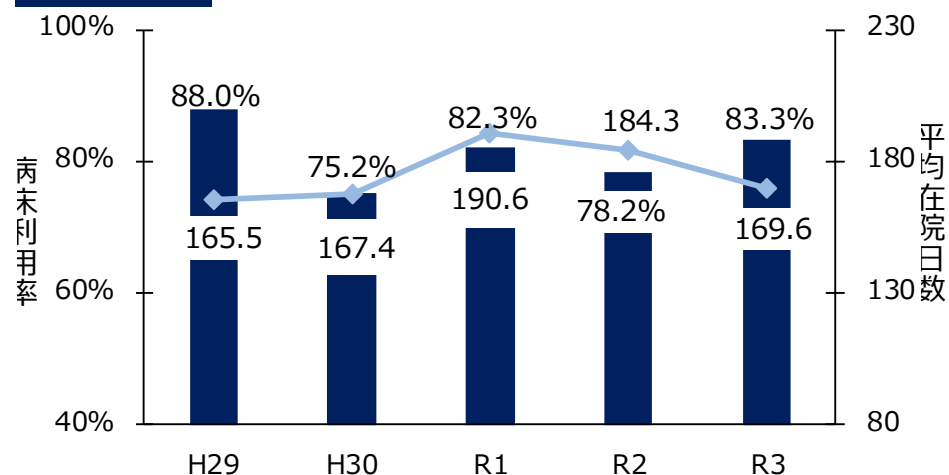
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

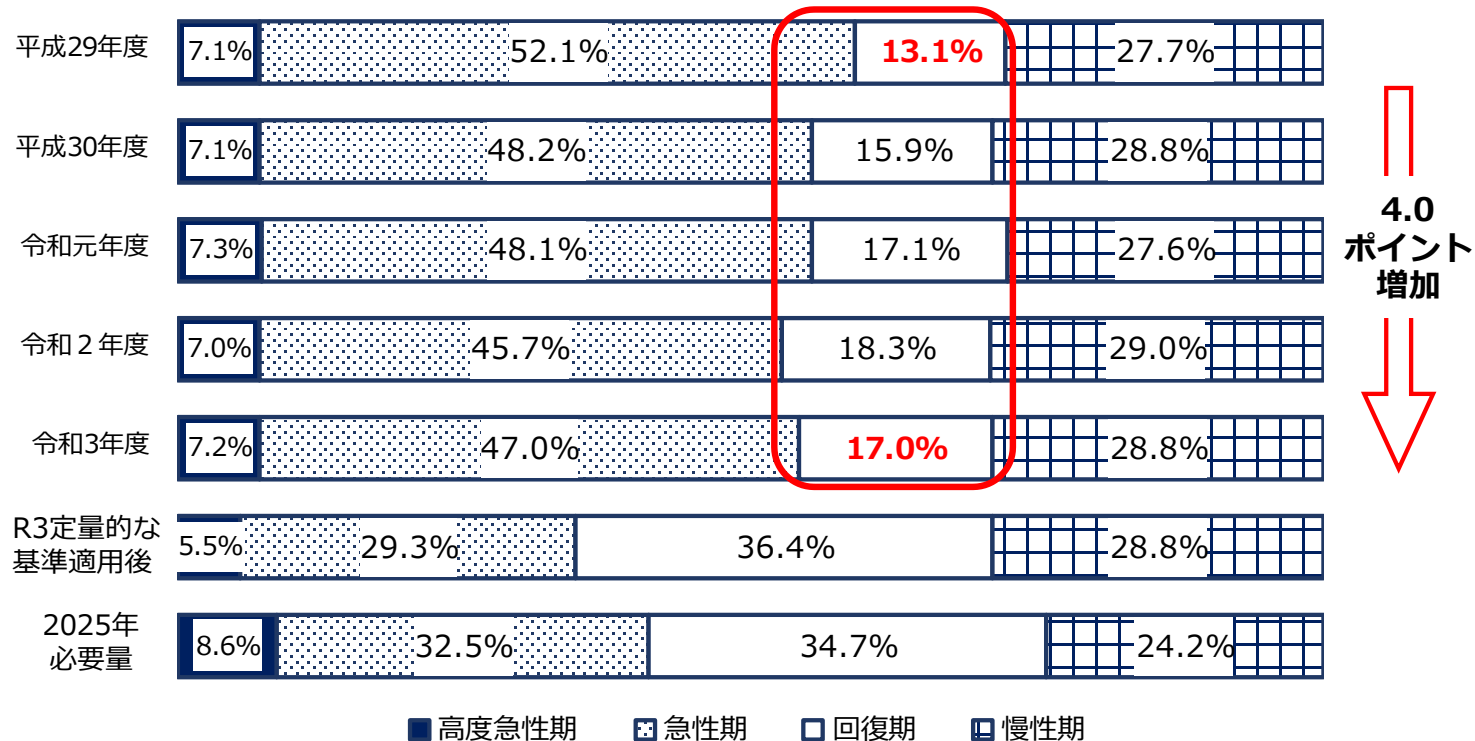
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

# 【区東北部】 病床の機能分化の進捗状況①

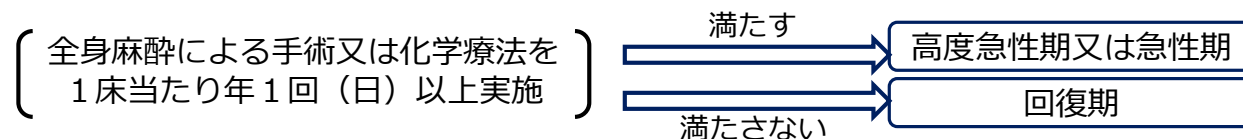
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 4.0ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

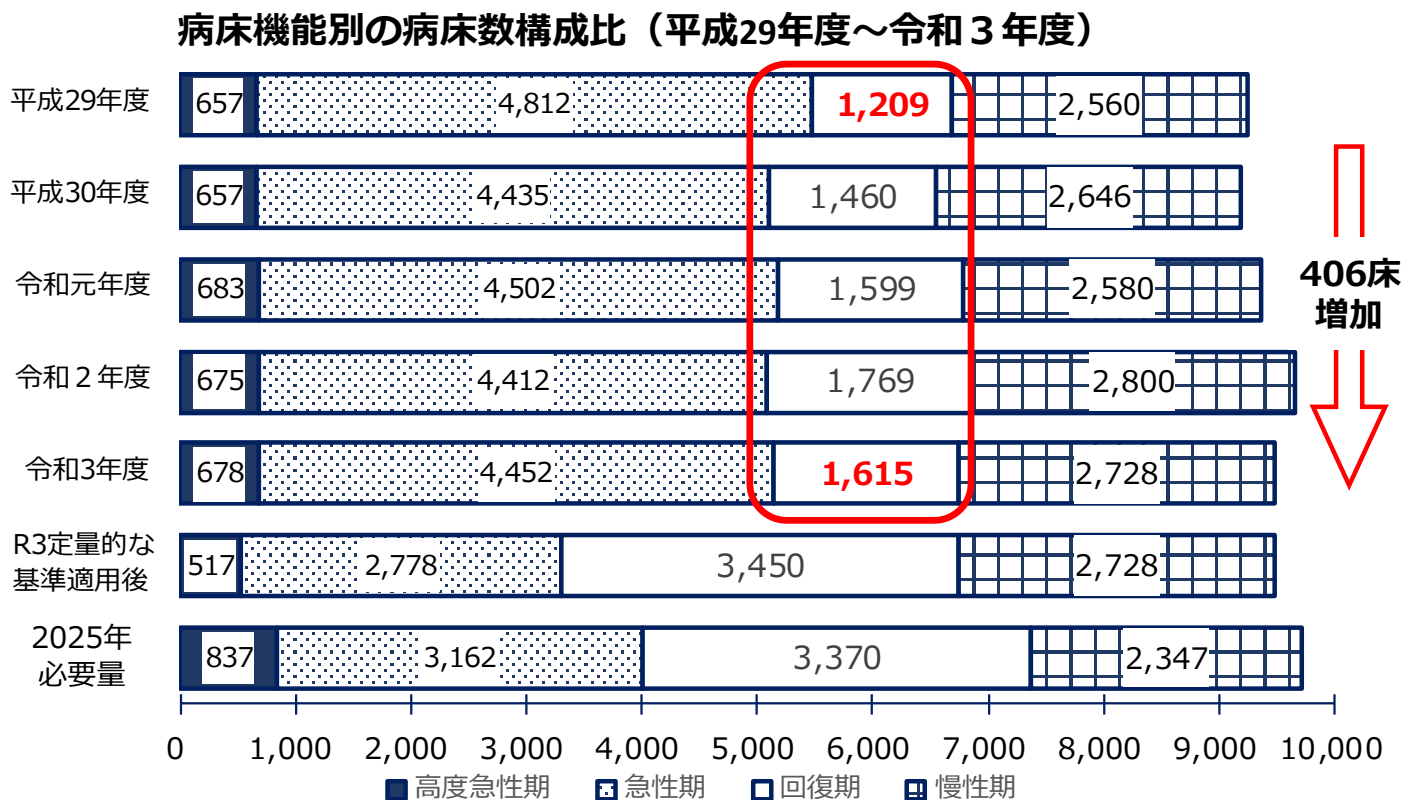
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

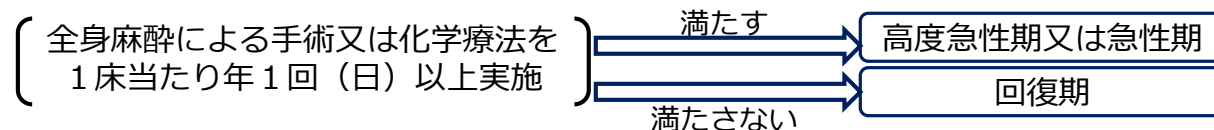
## 【区東北部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 406床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成



# 【区東北部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 20床  
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 1施設 8床  
管理料 2 0施設 0床  
管理料 3 5施設 38床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 6施設 68床  
管理料 2 0施設 0床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

3施設 23床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床  
新生児 0施設 0床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 21床  
管理料 2 0施設 0床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

2施設 42床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

12施設 1,878床

**12施設1,878床**

### 急性期一般入院料 2～7

28施設 1,847床

### 地域一般入院料

入院料1・2 12施設 544床  
入院料 3 6施設 252床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 1施設 37床  
入院料 2 1施設 30床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 2施設 36床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 10施設 805床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 4施設 148床 入院料 6 1施設 42床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 12施設 406床 入院料 3 1施設 30床  
入院料 2 13施設 239床 入院料 4 1施設 28床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 8施設 412床  
入院料 3 3施設 226床  
入院料 4 2施設 135床

### 特殊疾患病棟入院料

1施設 51床

### 有床診療所入院基本料

20施設 292床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 24施設 1,605床  
基本料 2 1施設 57床

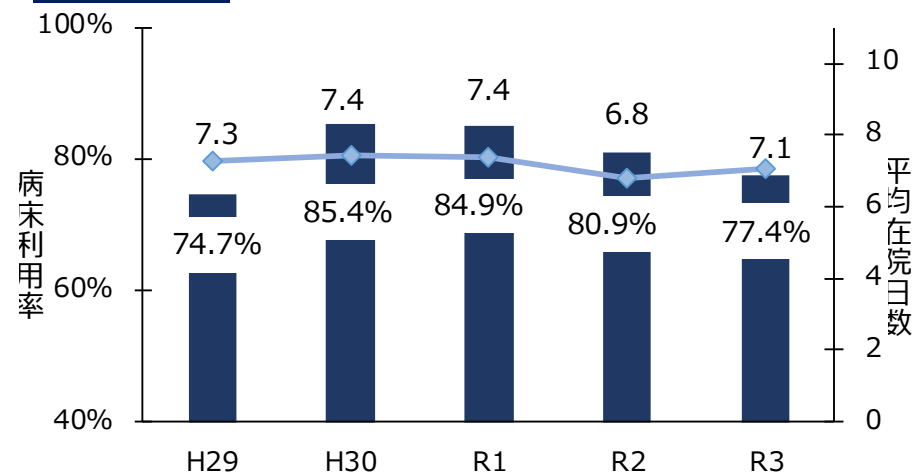
### 有床診療所療養病床入院基本料

2施設 26床

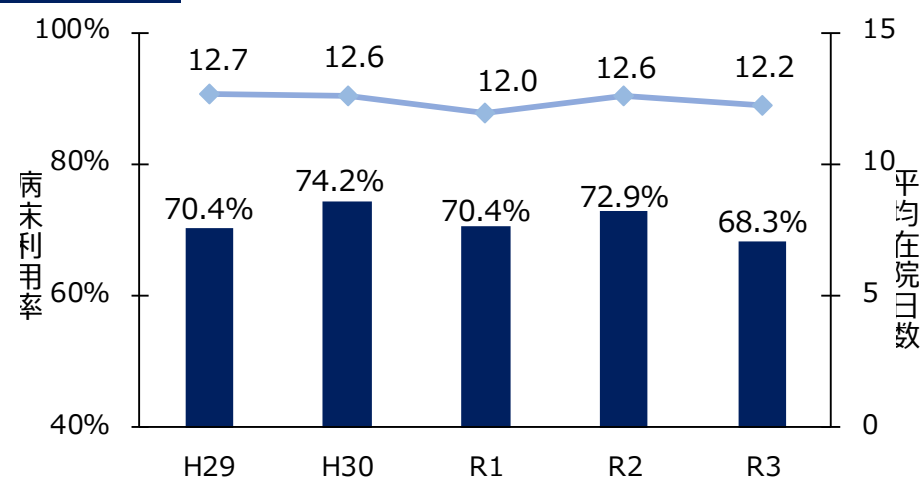
**DPC/PDCS 12施設2,466床**

# 【区東北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

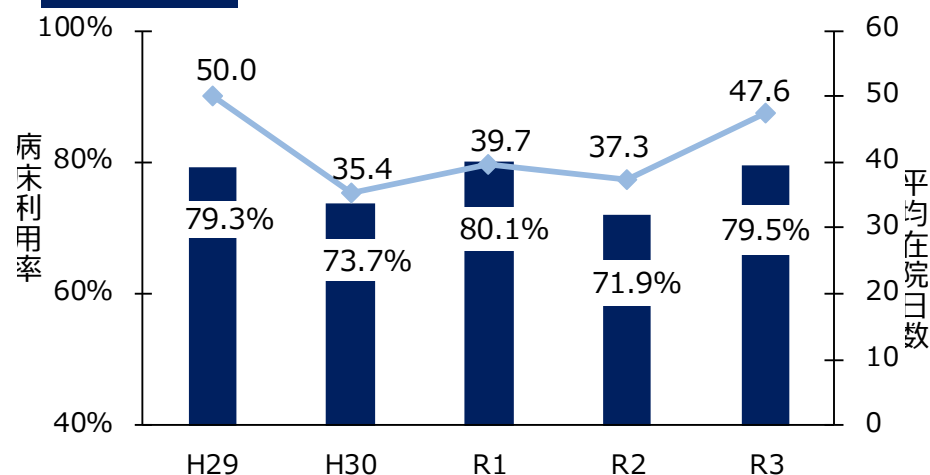
## 高度急性期



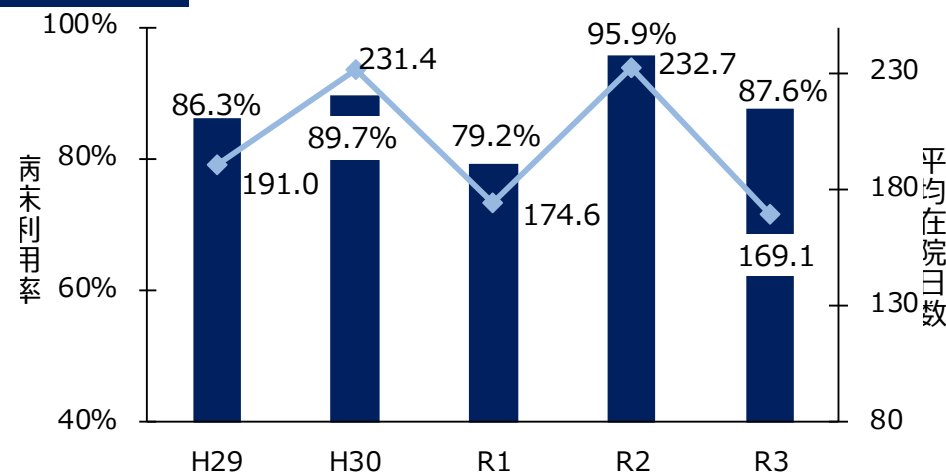
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

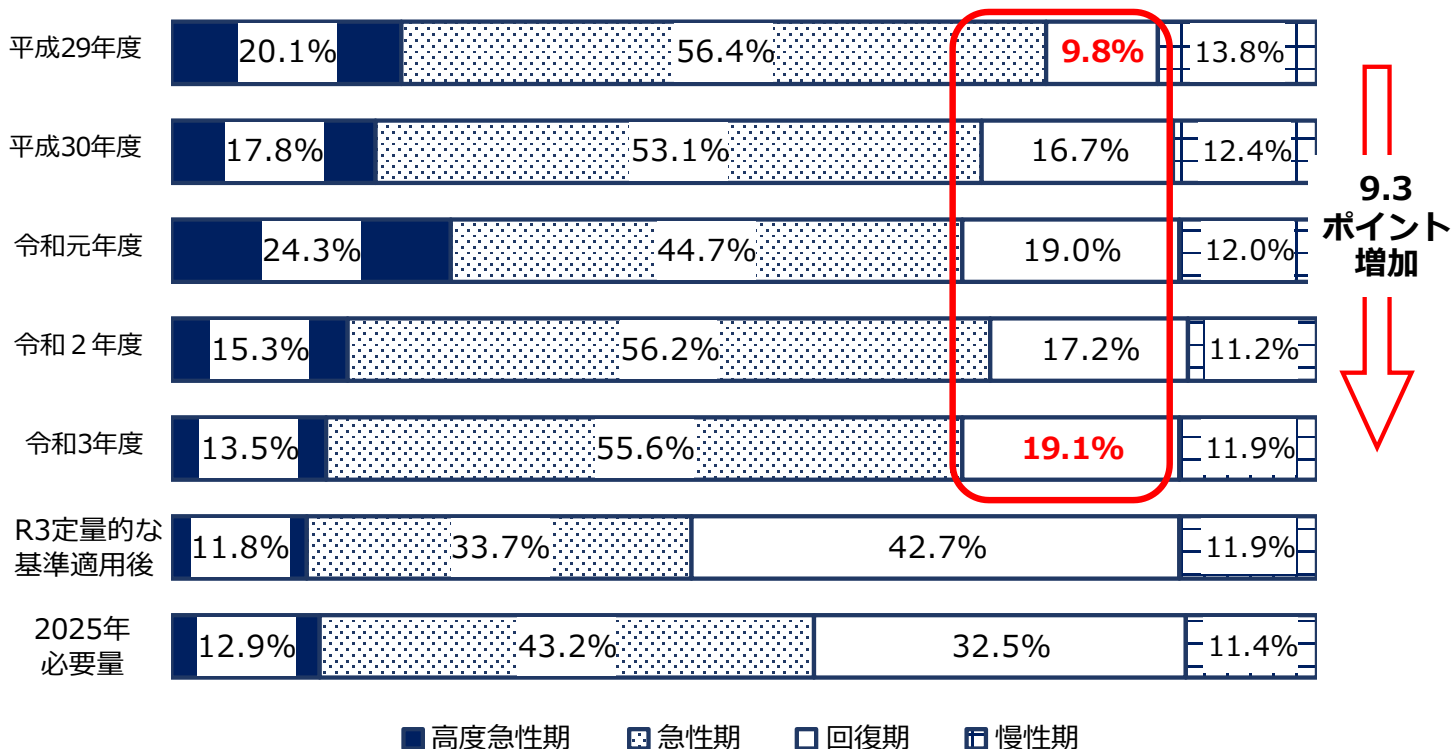
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

# 【区東部】 病床の機能分化の進捗状況①

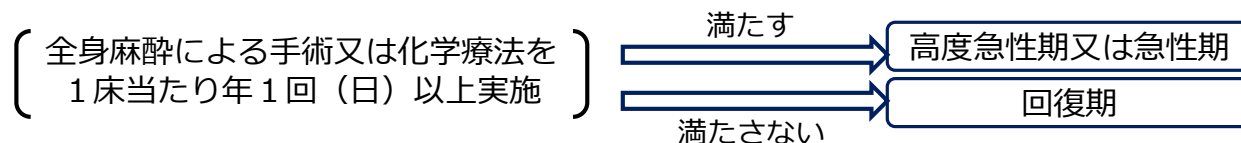
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 9.3ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

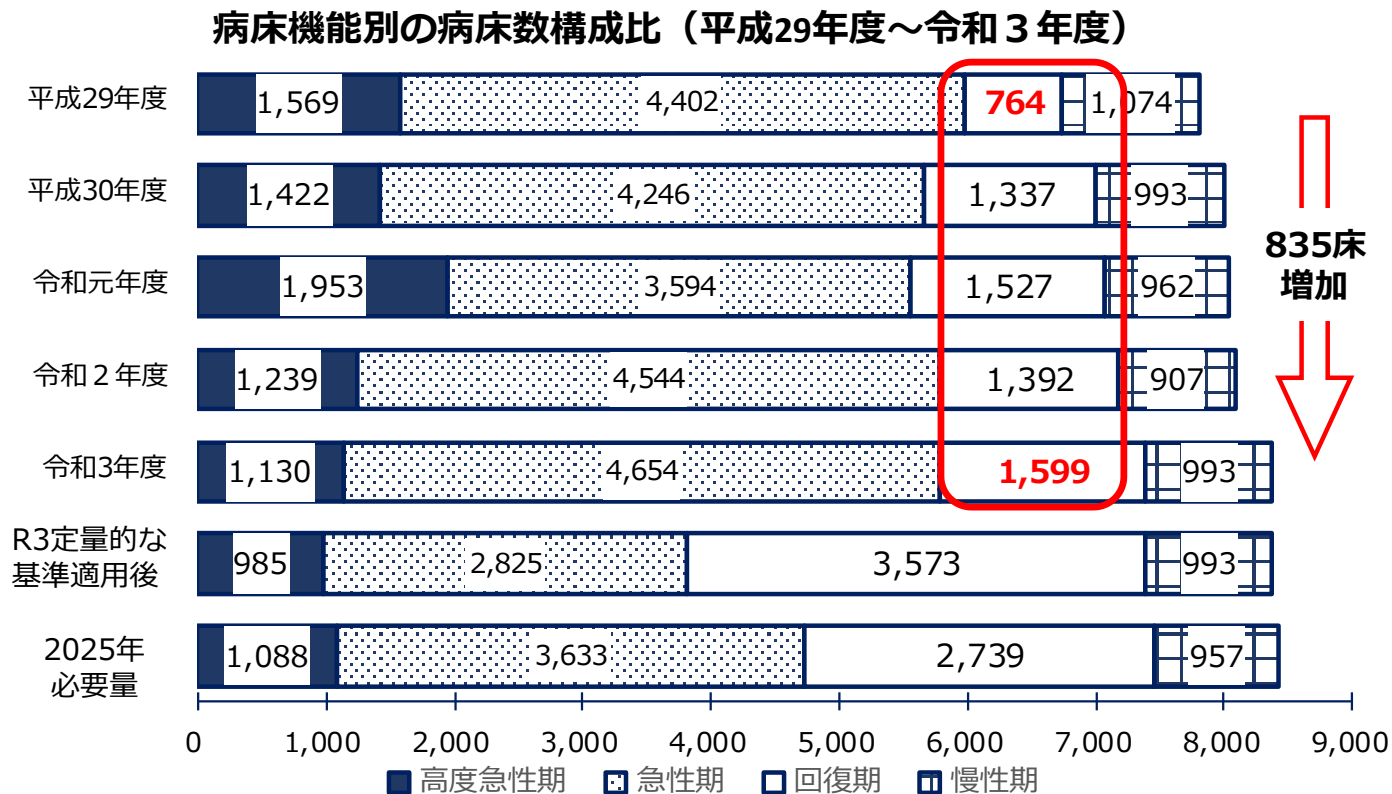
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

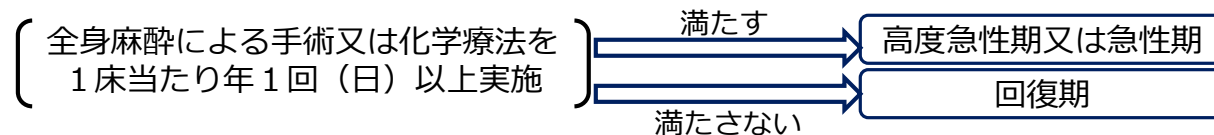
## 【区東部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 835床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

# 【区東部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 12床  
入院料 4 1施設 12床 入院料 3 0施設 0床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 2施設 28床  
管理料 2 0施設 0床  
管理料 3 3施設 26床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 5施設 73床  
管理料 2 0施設 0床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

2施設 15床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 1施設 9床  
新生児 1施設 16床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 1施設 15床  
管理料 2 1施設 6床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

1施設 33床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 1施設 609床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

14施設 3,227床

**15施設 3,836床**

### 急性期一般入院料 2～7

17施設 871床

### 地域一般入院料

入院料 1・2 5施設 332床  
入院料 3 4施設 145床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 3施設 102床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 628床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 1施設 31床  
入院料 3 3施設 109床 入院料 6 1施設 48床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 8施設 376床 入院料 3 1施設 28床  
入院料 2 8施設 263床 入院料 4 1施設 15床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 2施設 47床  
入院料 2 0施設 0床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 120床  
入院料 2 1施設 60床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 2施設 61床

### 特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

### 有床診療所入院基本料

18施設 254床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 9施設 527床  
基本料 2 2施設 99床

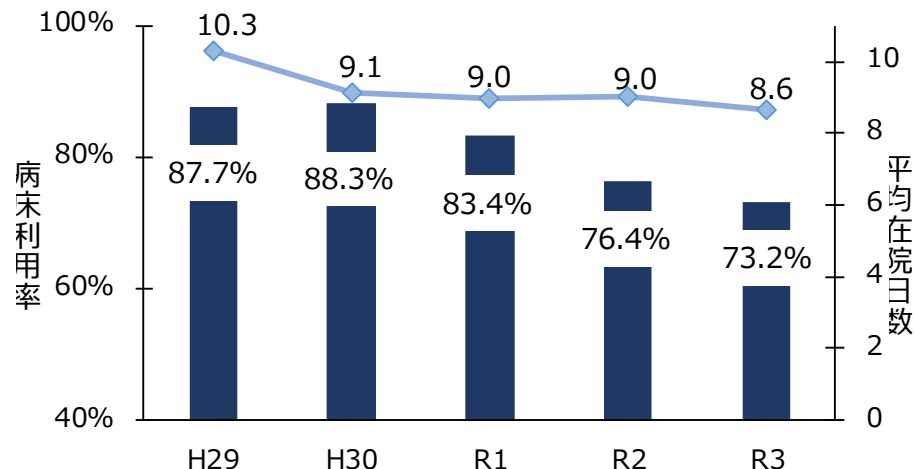
### 有床診療所療養病床入院基本料

1施設 15床

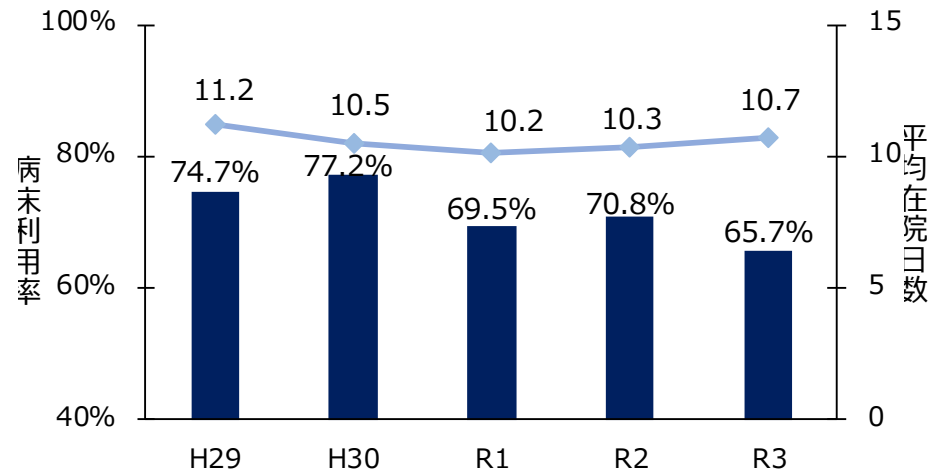
**DPC/PDCS 16施設 4,281床**

# 【区東部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

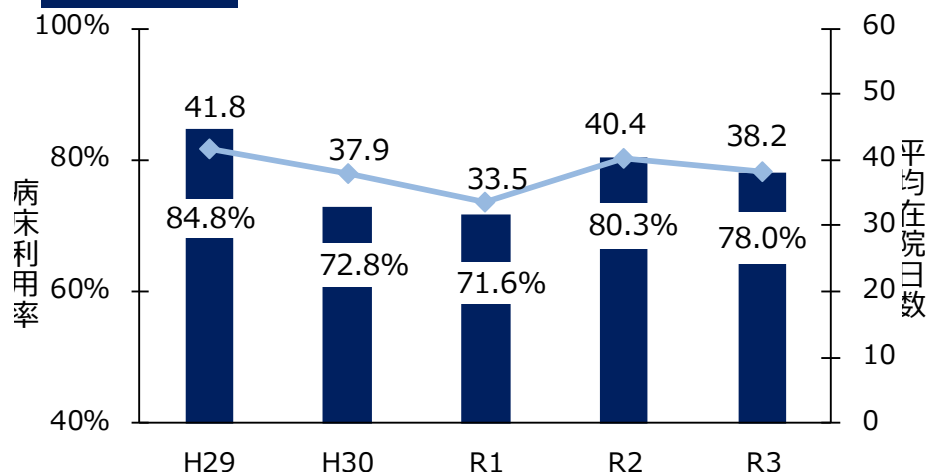
## 高度急性期



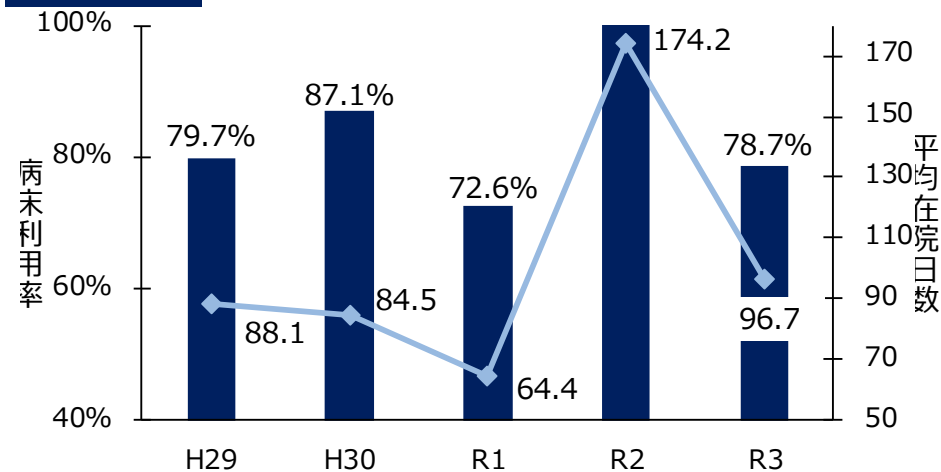
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

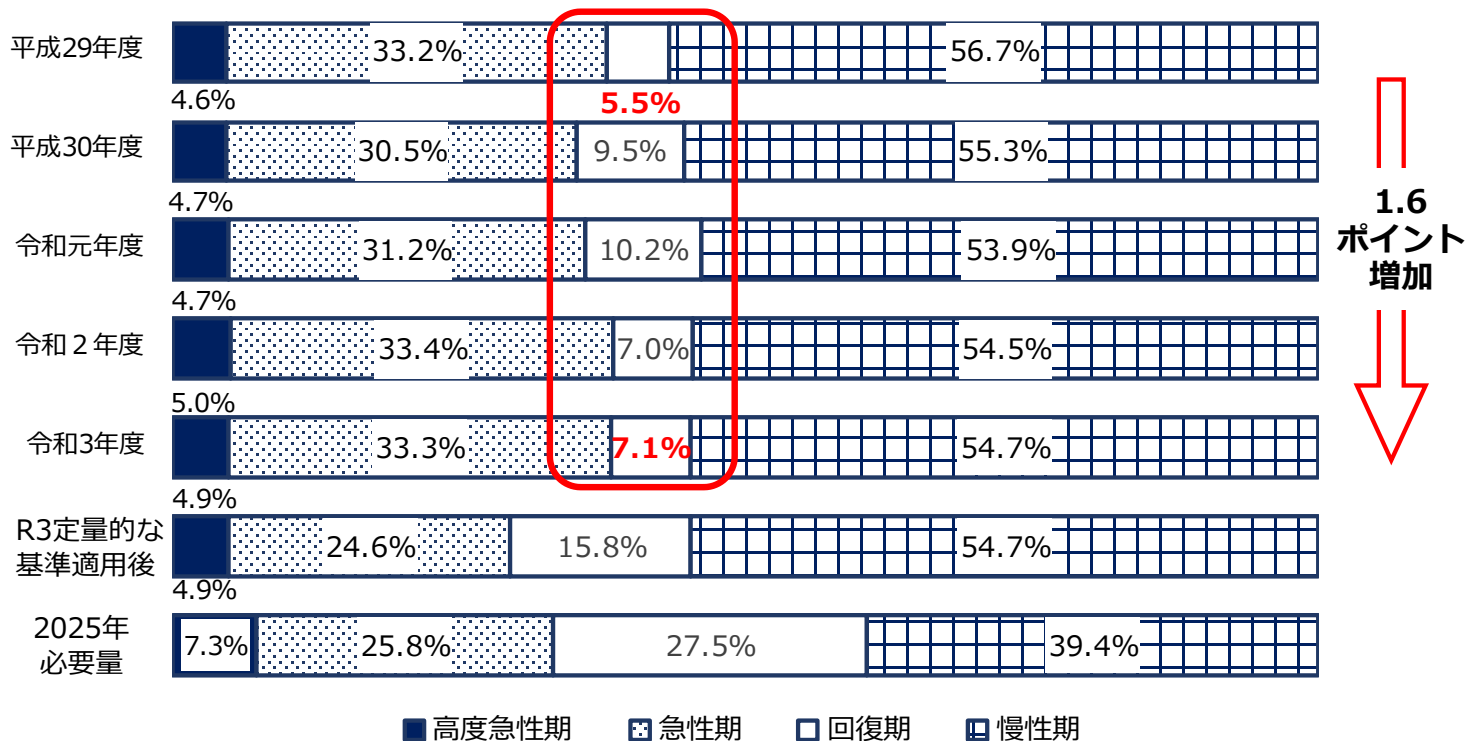
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

# 【西多摩】 病床の機能分化の進捗状況①

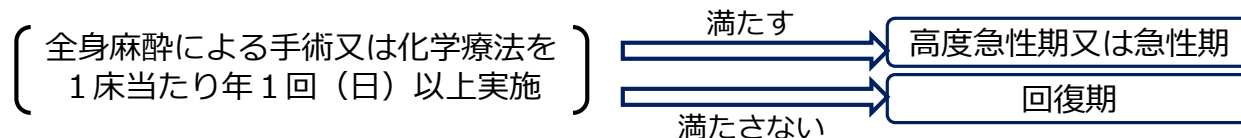
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 1.6ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

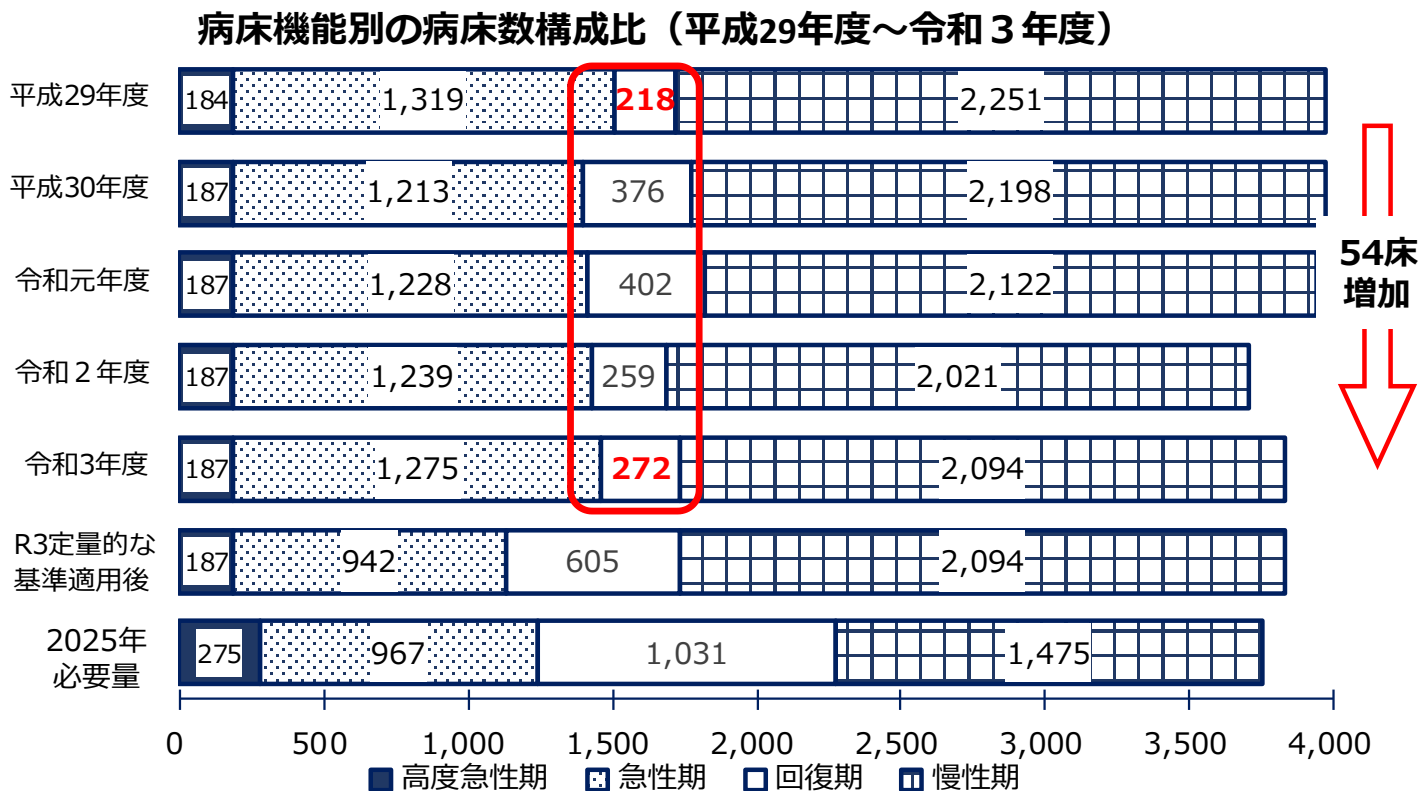
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

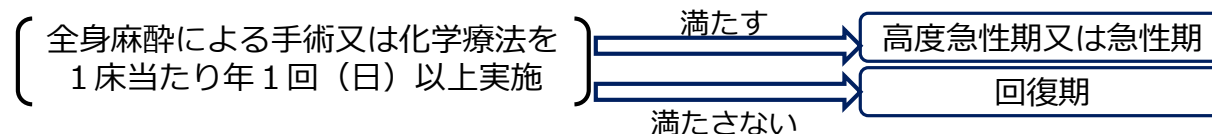
## 【西多摩】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 54床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成



# 【西多摩】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 22床  
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 0施設 0床  
管理料 3 1施設 8床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 1施設 40床  
管理料 2 1施設 40床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

0施設 0床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床  
新生児 0施設 0床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 0施設 0床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

0施設 0床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

3施設 716床

**3施設716床**

### 急性期一般入院料 2～7

3施設 296床

### 地域一般入院料

入院料 1・2 2施設 77床  
入院料 3 0施設 0床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 1施設 16床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 1施設 83床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 1施設 50床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 2施設 61床 入院料 6 0施設 0床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 3施設 118床 入院料 3 0施設 0床  
入院料 2 1施設 43床 入院料 4 0施設 0床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 16床  
入院料 2 1施設 16床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 2施設 120床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

### 有床診療所入院基本料

6施設 74床

### 療養病棟入院基本料

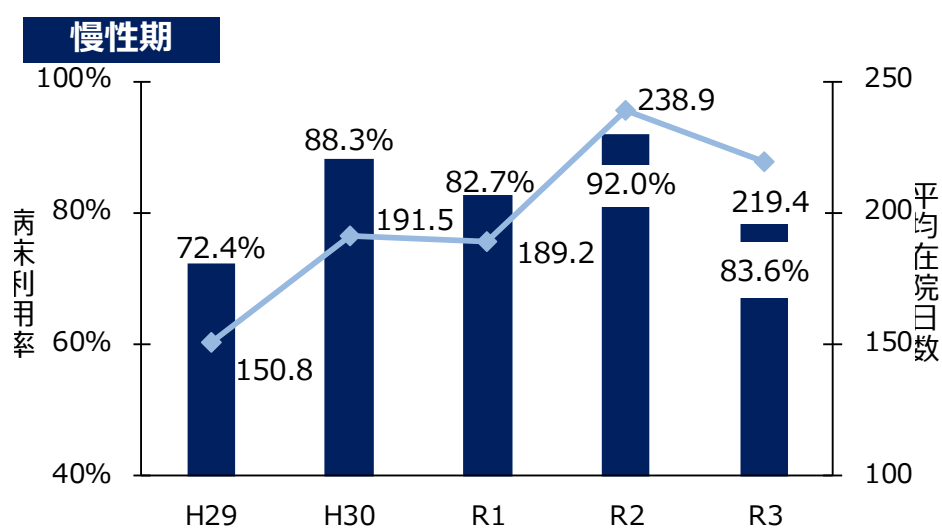
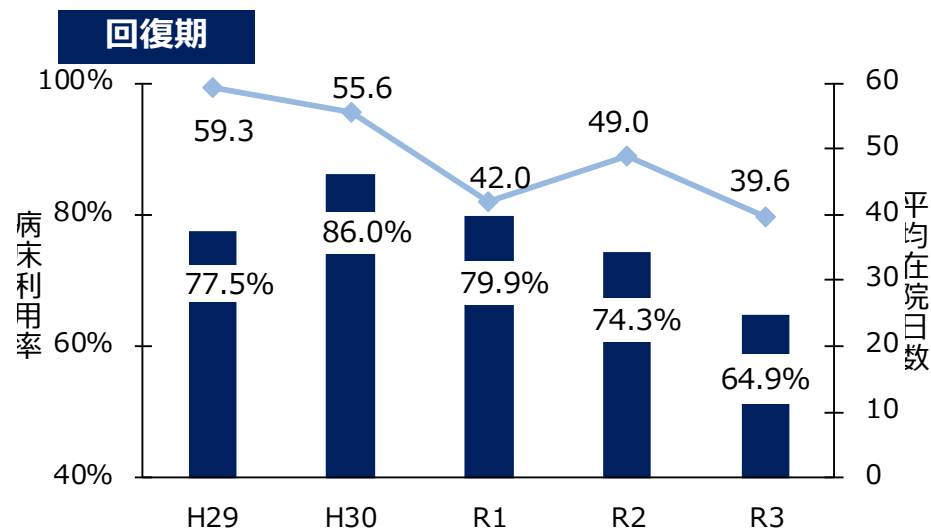
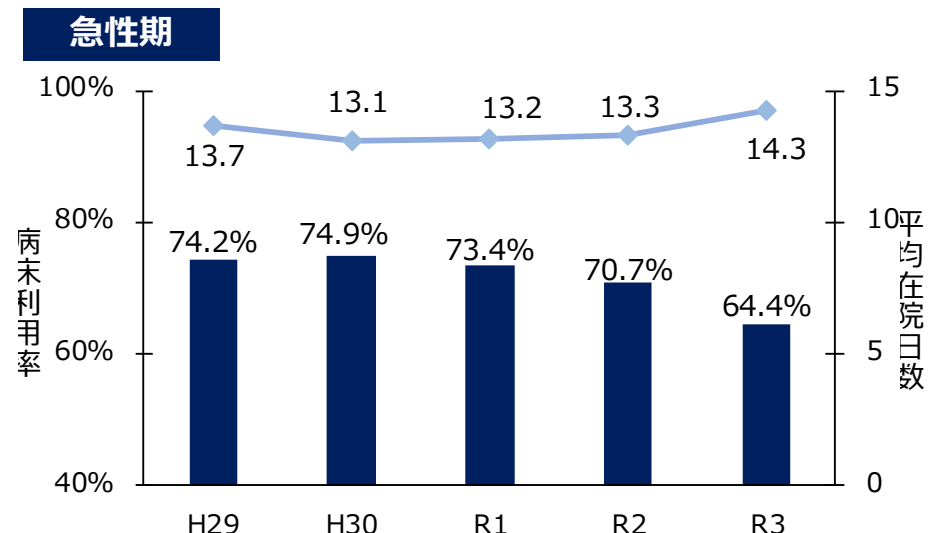
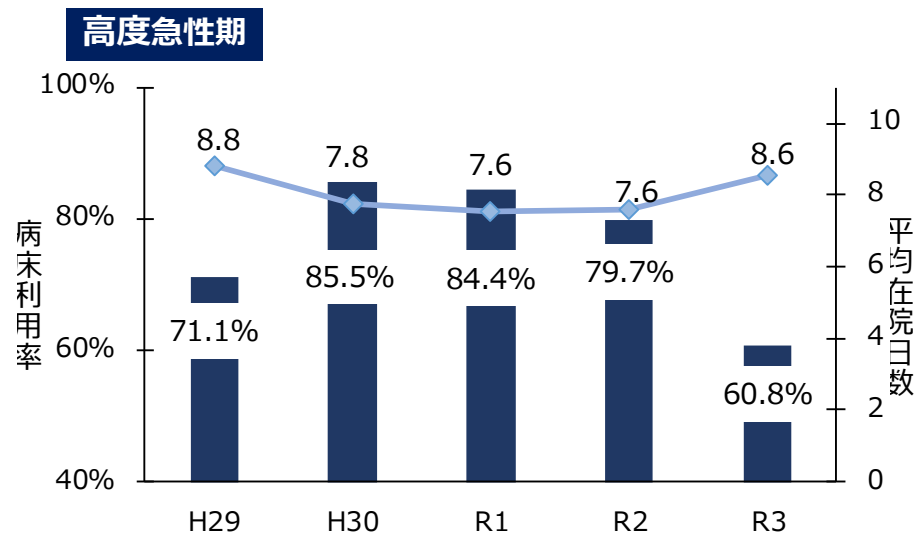
基本料 1 8施設 574床  
基本料 2 5施設 849床

### 有床診療所療養病床入院基本料

1施設 19床

DPC/PDCS 4施設962床

# 【西多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

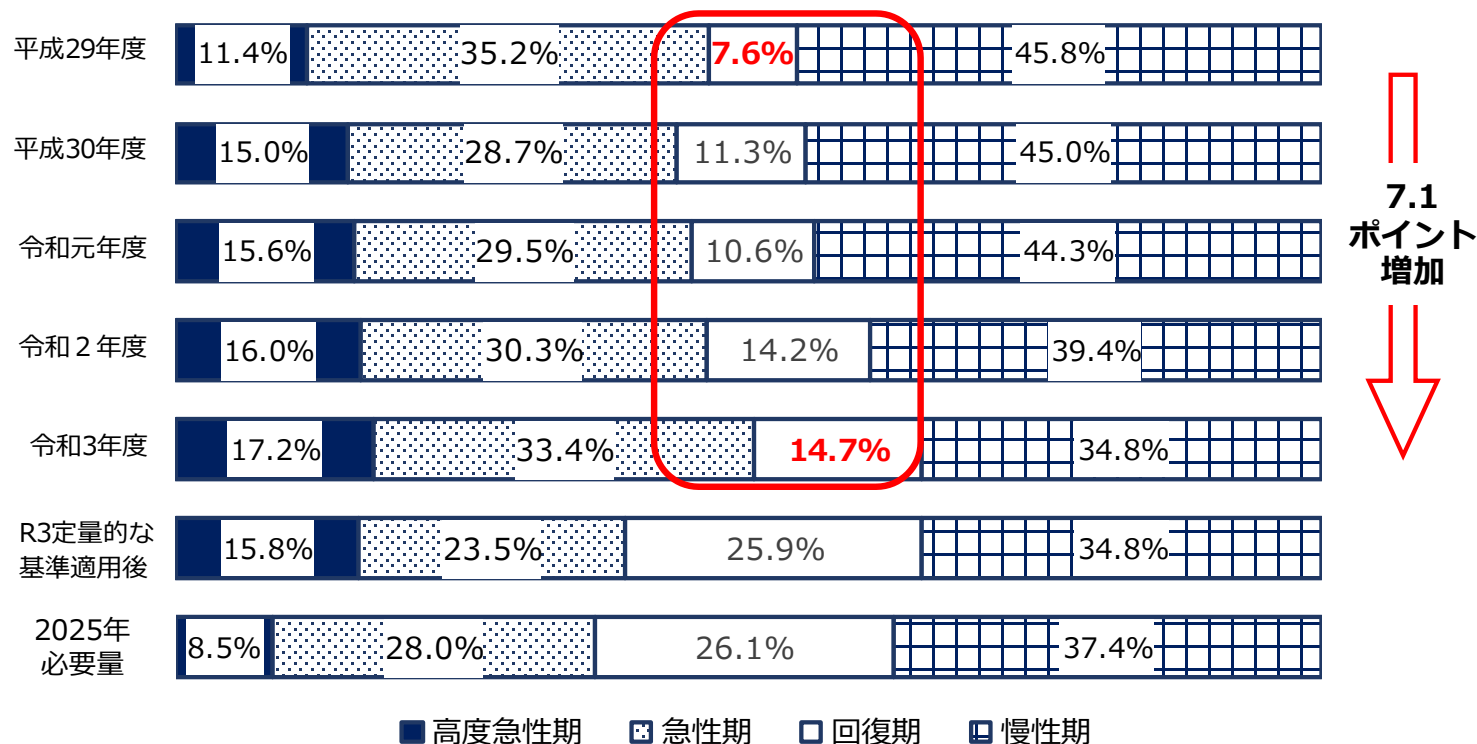
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

# 【南多摩】 病床の機能分化の進捗状況①

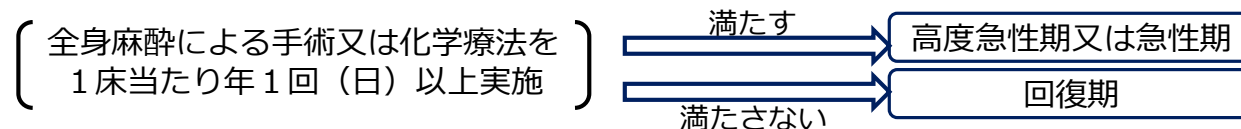
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 7.1ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

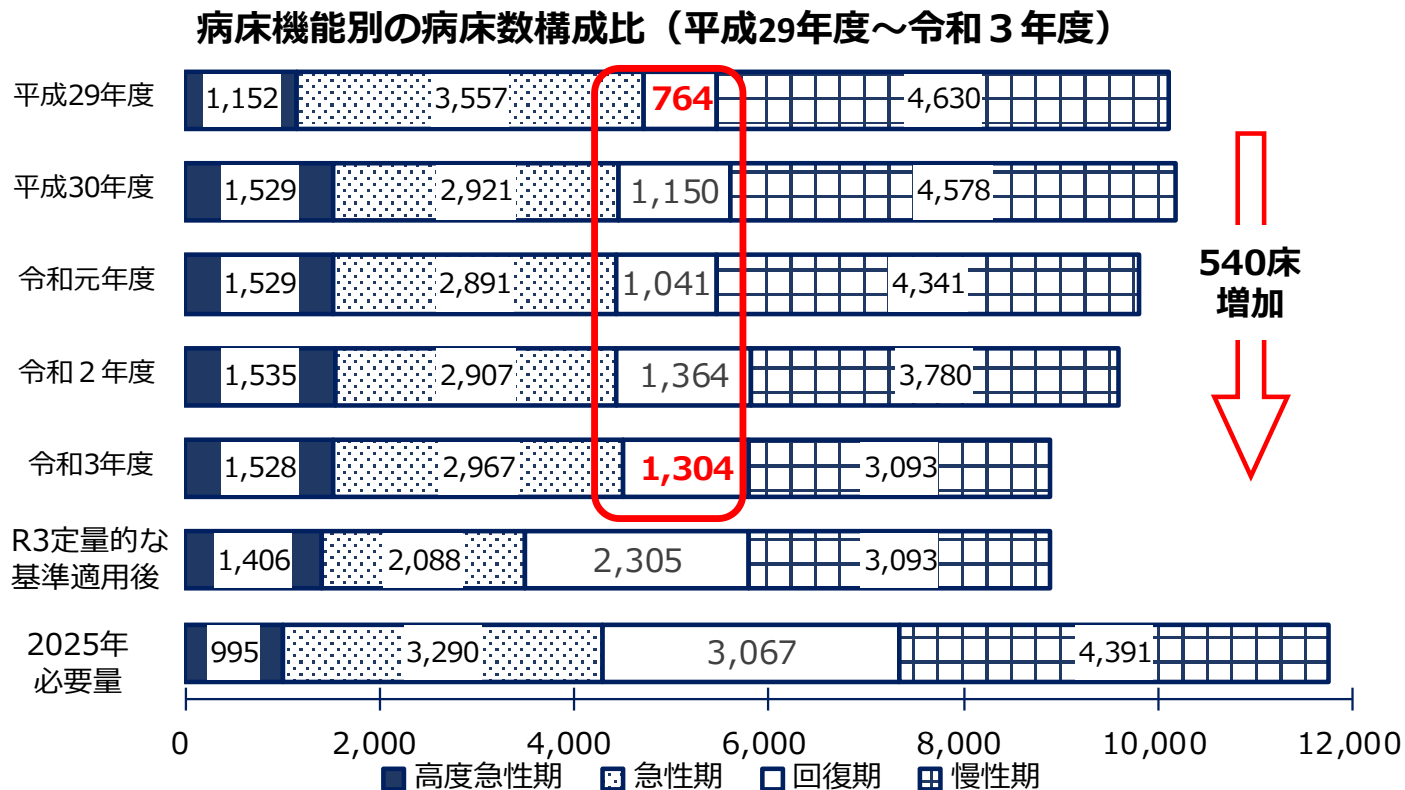
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

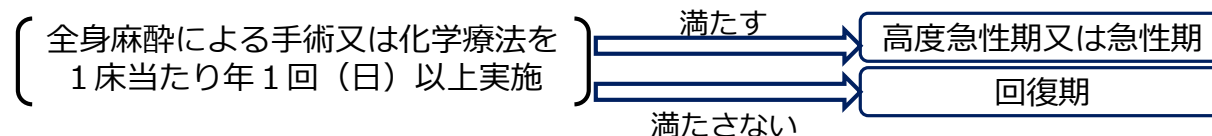
## 【南多摩】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 540床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

# 【南多摩】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 2施設 37床  
入院料 4 2施設 22床 入院料 3 0施設 0床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 1施設 6床  
管理料 3 3施設 30床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 4施設 39床  
管理料 2 1施設 25床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

0施設 0床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床  
新生児 0施設 0床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 1施設 6床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

0施設 0床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

11施設 2,546床

**11施設2,546床**

### 急性期一般入院料 2～7

14施設 875床

### 地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 35床  
入院料 3 2施設 76床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床  
入院料 3 3施設 93床  
入院料 4 4施設 57床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 10施設 548床 入院料 4 1施設 30床  
入院料 2 1施設 39床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 1施設 94床 入院料 6 0施設 0床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 10施設 438床 入院料 3 0施設 0床  
入院料 2 5施設 171床 入院料 4 0施設 0床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 11床  
入院料 2 3施設 59床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 8施設 713床  
入院料 3 1施設 60床  
入院料 4 1施設 199床

### 特殊疾患病棟入院料

1施設 48床

### 有床診療所入院基本料

23施設 310床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 22施設 1,858床  
基本料 2 2施設 273床

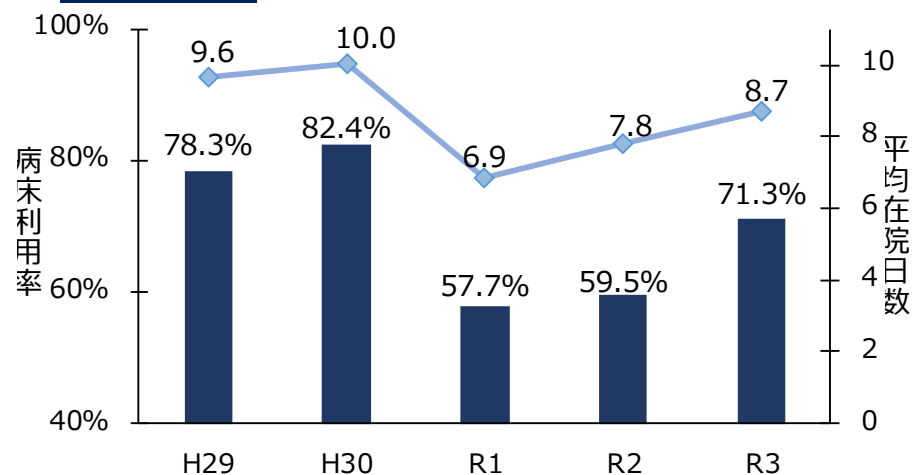
### 有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

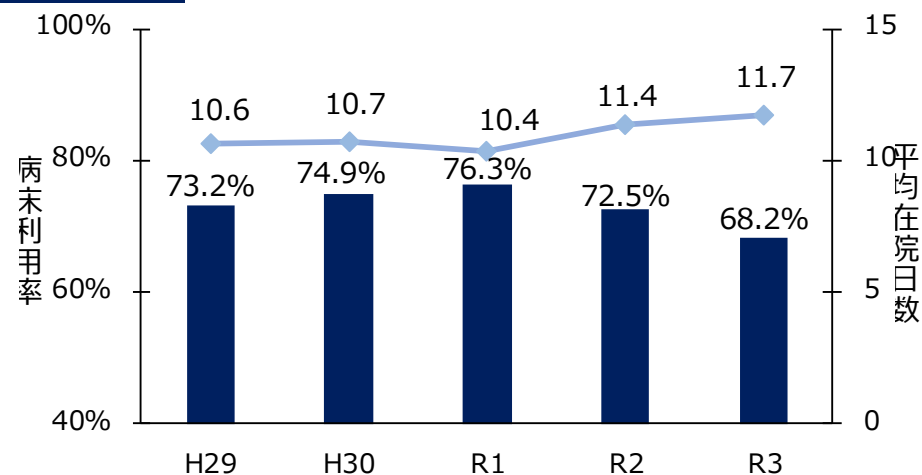
**DPC/PDCS 10施設2,811床**

# 【南多摩】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

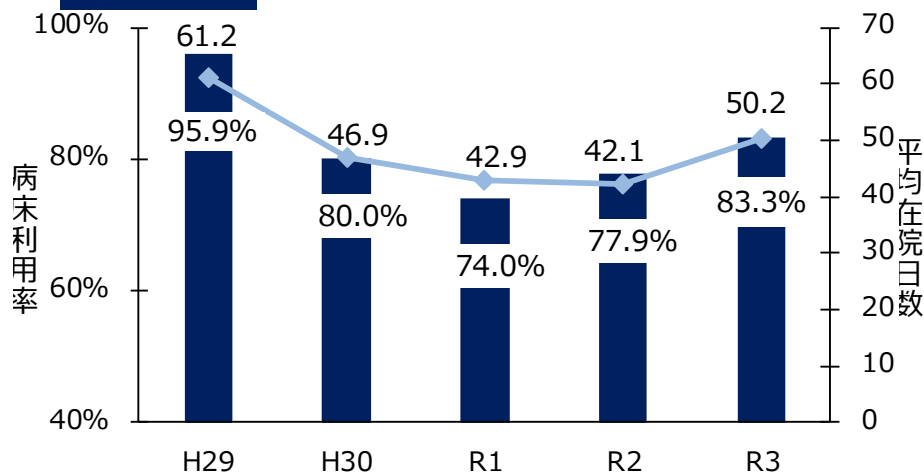
## 高度急性期



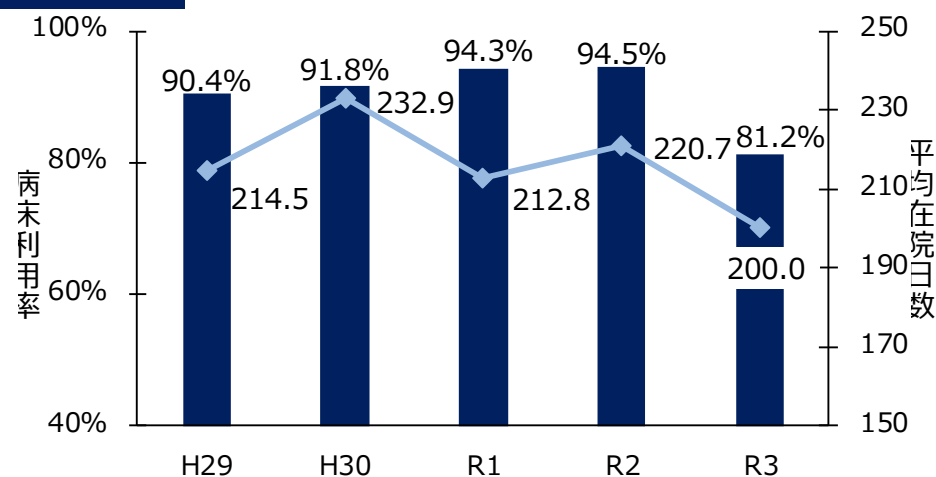
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

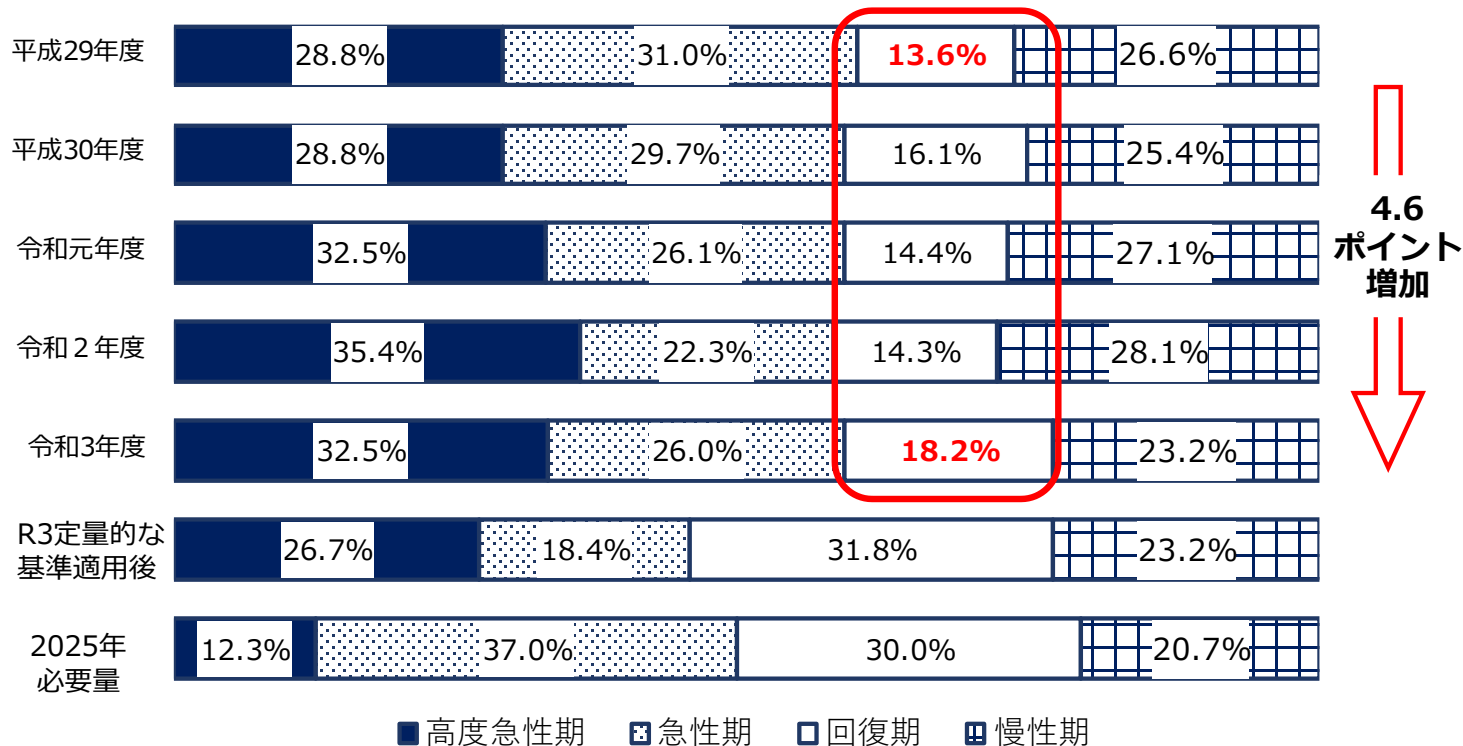
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

# 【北多摩西部】 病床の機能分化の進捗状況①

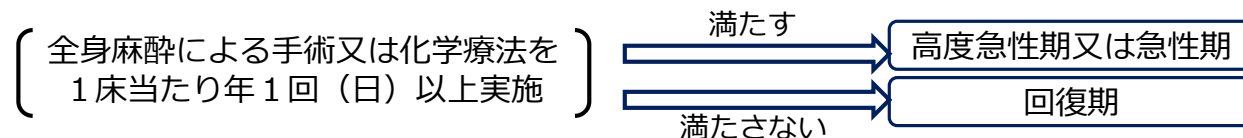
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 4.6ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

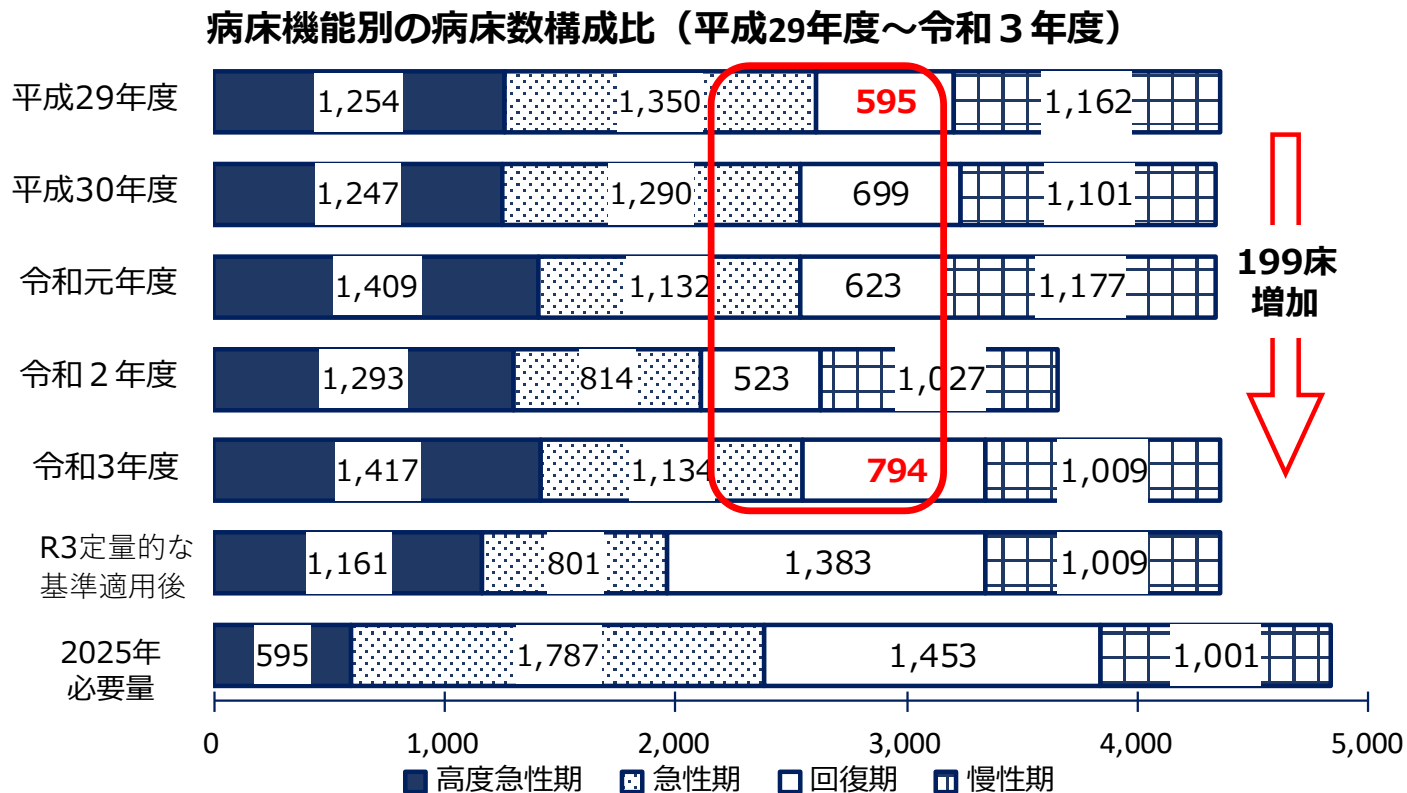
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

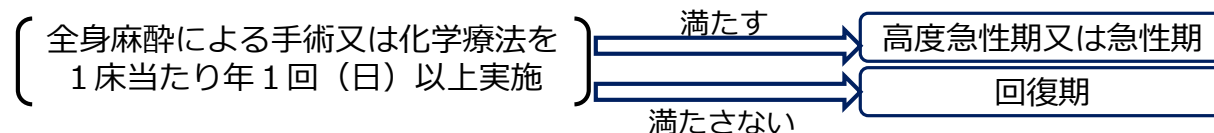
## 【北多摩西部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 199床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成



# 【北多摩西部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 1施設 14床 入院料 1 1施設 22床  
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 0施設 0床  
管理料 3 3施設 19床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 6施設 88床  
管理料 2 0施設 0床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

2施設 15床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 0施設 0床  
新生児 0施設 0床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 1施設 6床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

0施設 0床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

6施設 1,674床

**6施設1,674床**

### 急性期一般入院料 2～7

6施設 449床

### 地域一般入院料

入院料1・2 1施設 44床  
入院料 3 0施設 0床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床  
入院料 3 1施設 24床  
入院料 4 2施設 43床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 214床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 2施設 126床 入院料 6 0施設 0床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 4施設 143床 入院料 3 0施設 0床  
入院料 2 4施設 178床 入院料 4 0施設 0床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 3施設 332床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

1施設 32床

### 有床診療所入院基本料

5施設 57床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 9施設 673床  
基本料 2 0施設 0床

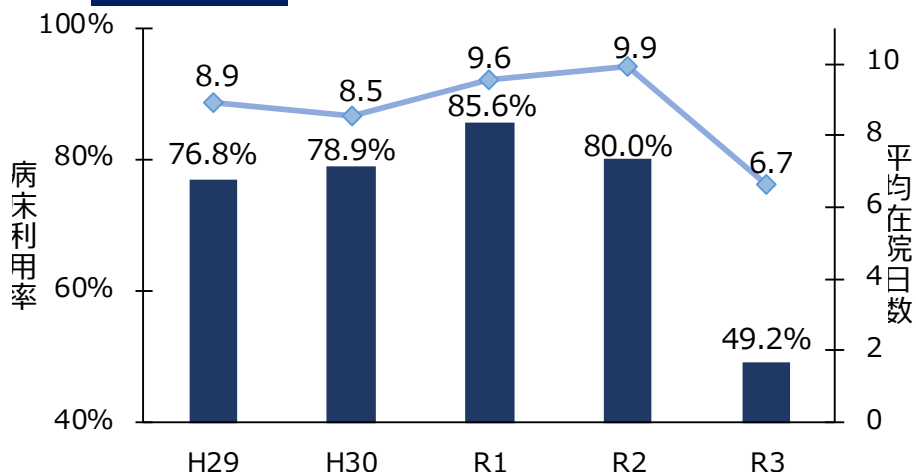
### 有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

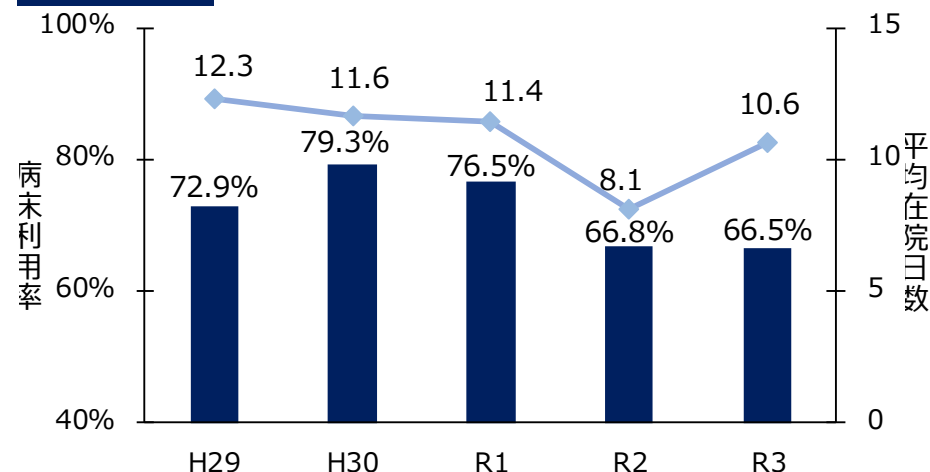
**DPC/PDCS 8施設2,110床**

# 【北多摩西部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

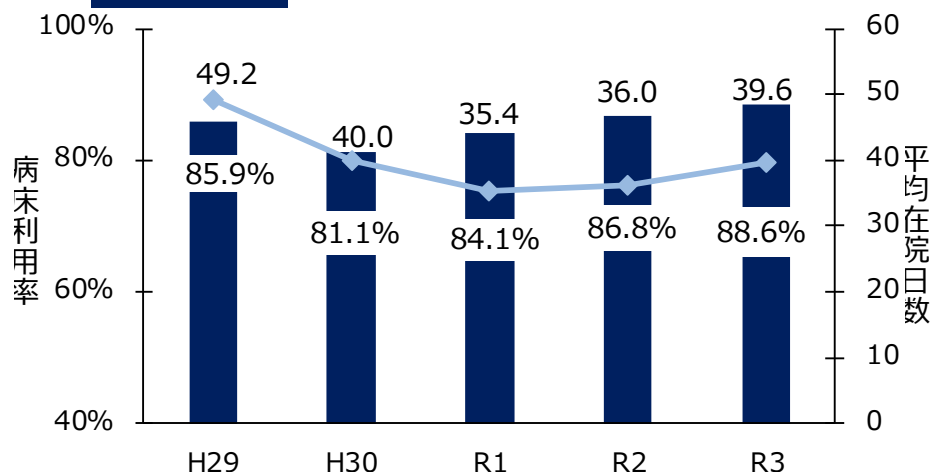
## 高度急性期



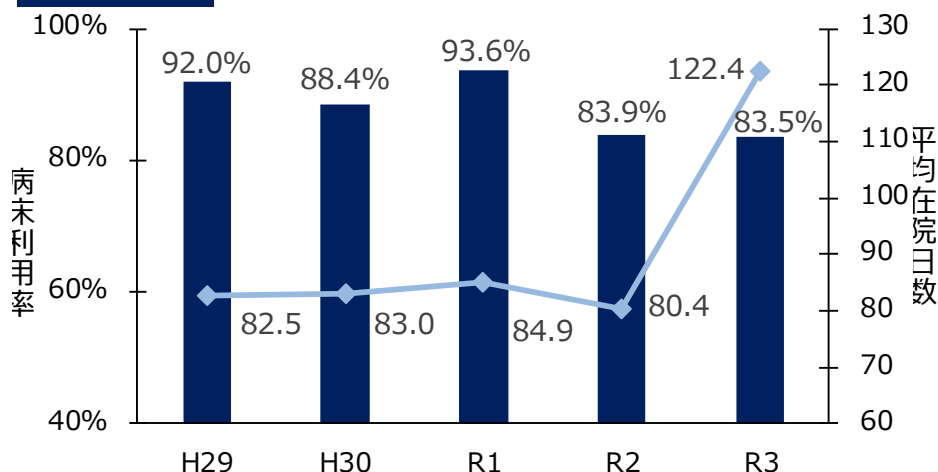
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

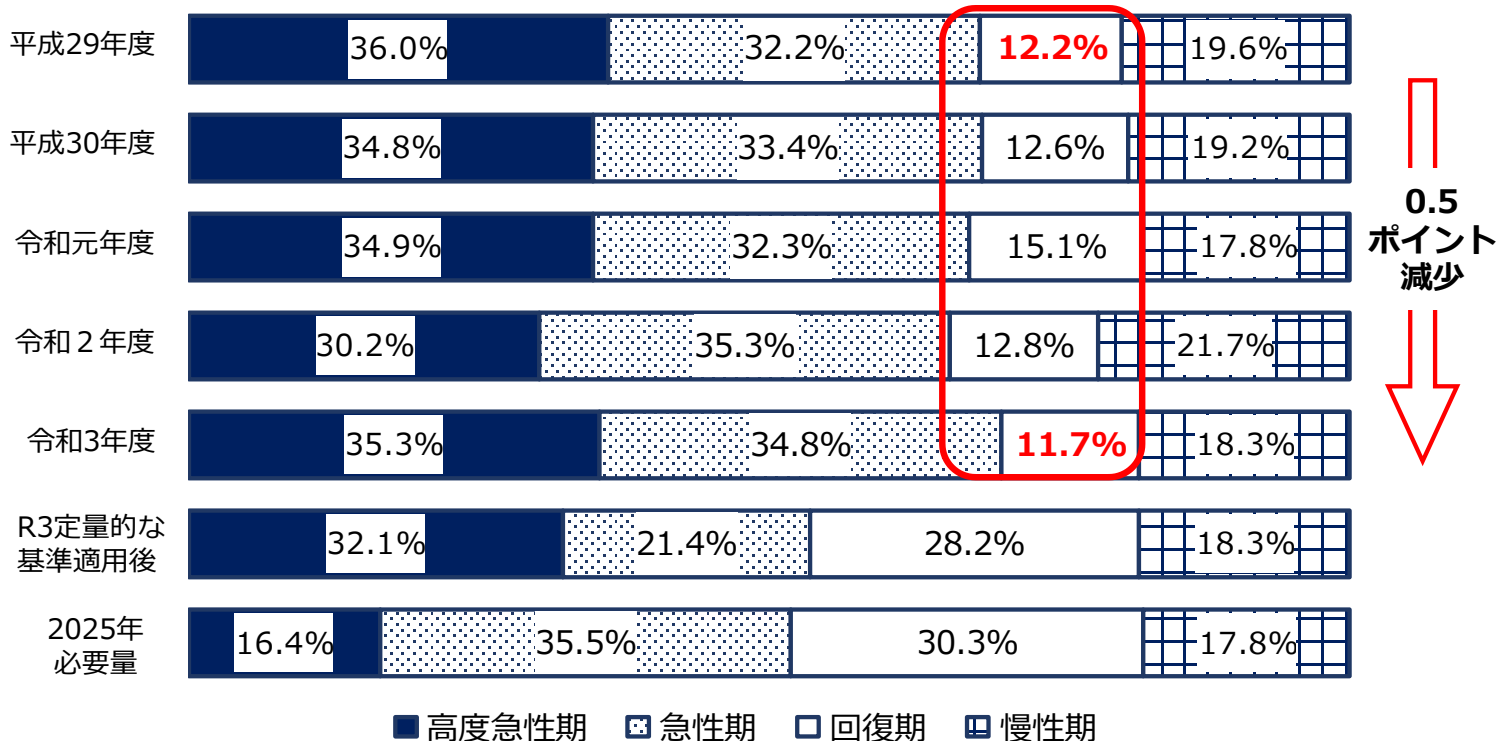
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数（右軸）

（出所）病床機能報告より作成

# 【北多摩南部】 病床の機能分化の進捗状況①

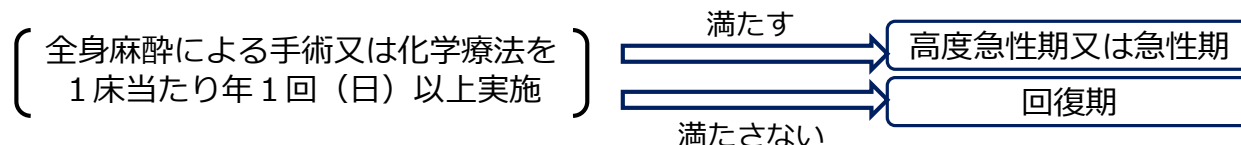
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度まで、ほぼ横ばい～微減

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

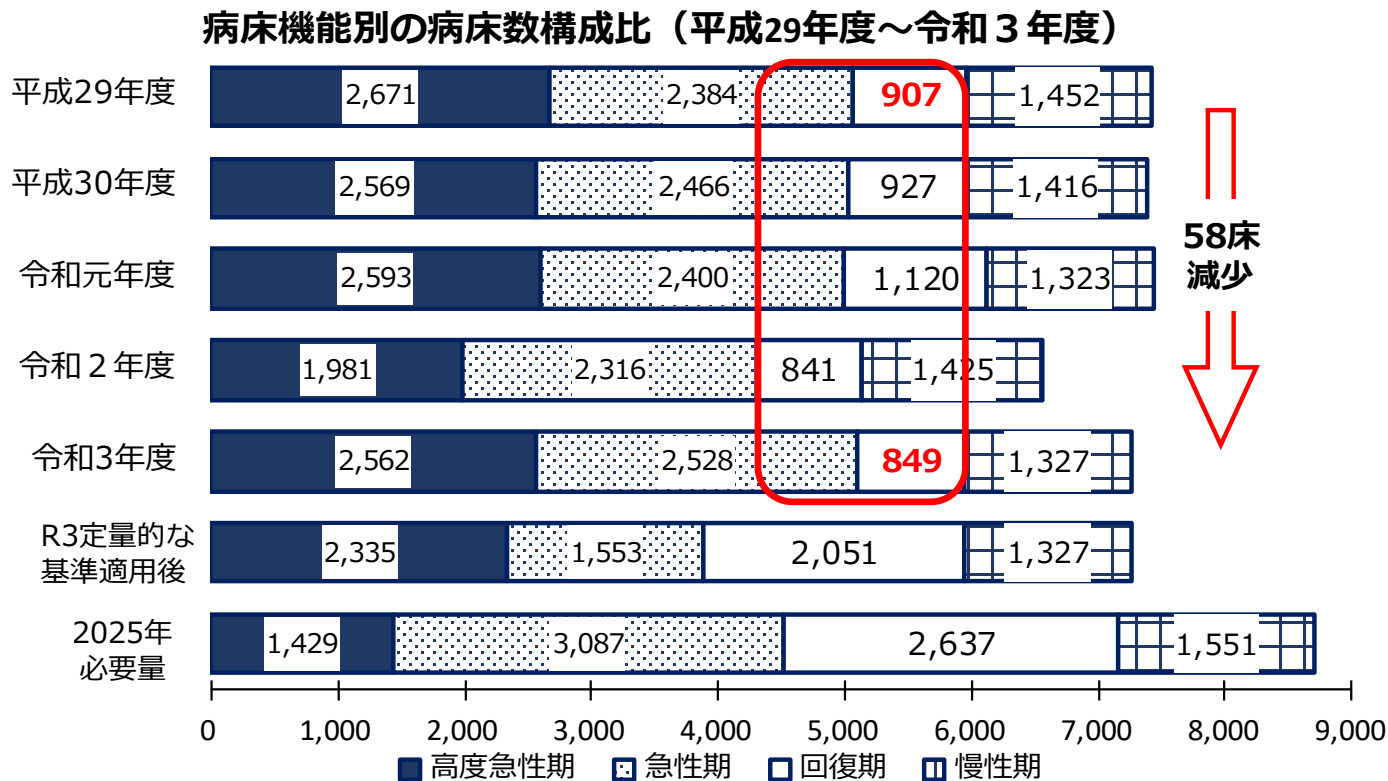
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

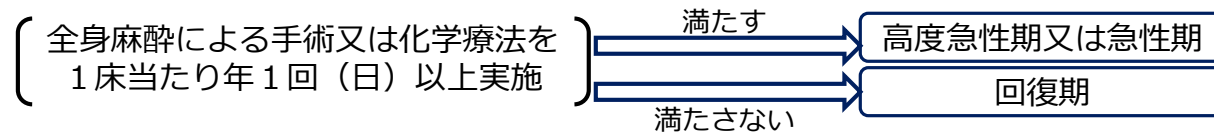
## 【北多摩南部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度まで、横ばい～微減で推移



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

# 【北多摩南部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 1施設 6床 入院料 1 1施設 14床  
入院料 4 2施設 38床 入院料 3 1施設 22床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 3施設 68床  
管理料 2 0施設 0床  
管理料 3 4施設 32床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 3施設 50床  
管理料 2 1施設 10床

### 小児特定集中 治療室管理料

1施設 20床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

2施設 19床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 2施設 21床  
新生児 2施設 39床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 2施設 12床  
管理料 2 0施設 0床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

3施設 84床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 1施設 827床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

11施設 2,304床

**12施設3,131床**

### 急性期一般入院料 2～7

9施設 669床

### 地域一般入院料

入院料 1・2 1施設 35床  
入院料 3 3施設 117床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 2施設 274床  
入院料 2 2施設 85床  
入院料 3 1施設 32床  
入院料 4 1施設 10床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 5施設 417床 入院料 4 0施設 0床  
入院料 2 0施設 0床 入院料 5 0施設 0床  
入院料 3 2施設 73床 入院料 6 0施設 0床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 6施設 195床 入院料 3 0施設 0床  
入院料 2 3施設 78床 入院料 4 1施設 21床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 12床  
入院料 2 1施設 20床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 260床  
入院料 2 4施設 351床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

### 有床診療所入院基本料

9施設 85床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 10施設 534床  
基本料 2 1施設 22床

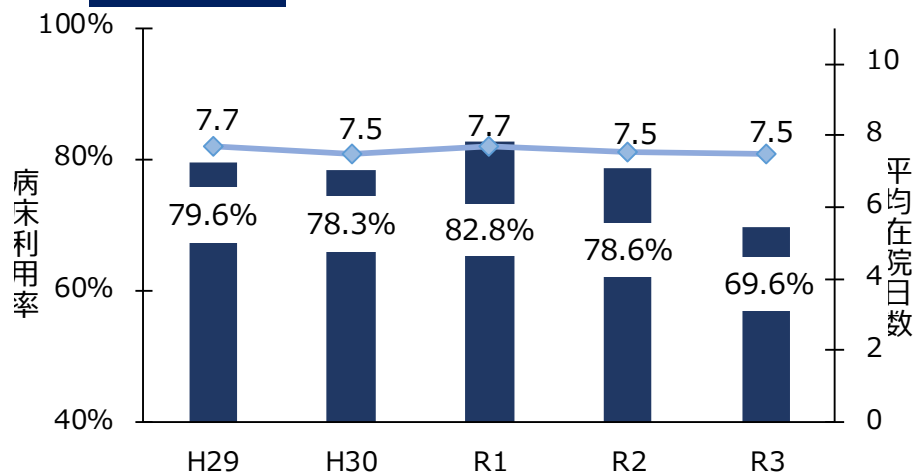
### 有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

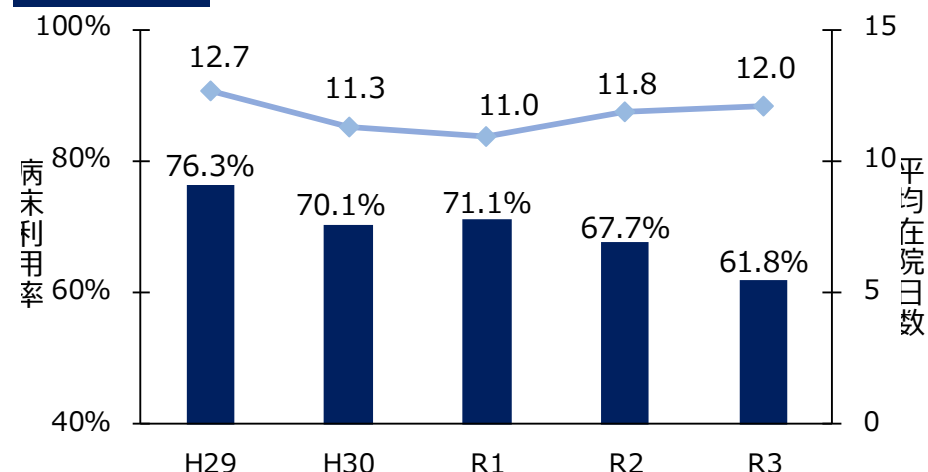
**DPC/PDCS 10施設3,819床**

# 【北多摩南部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

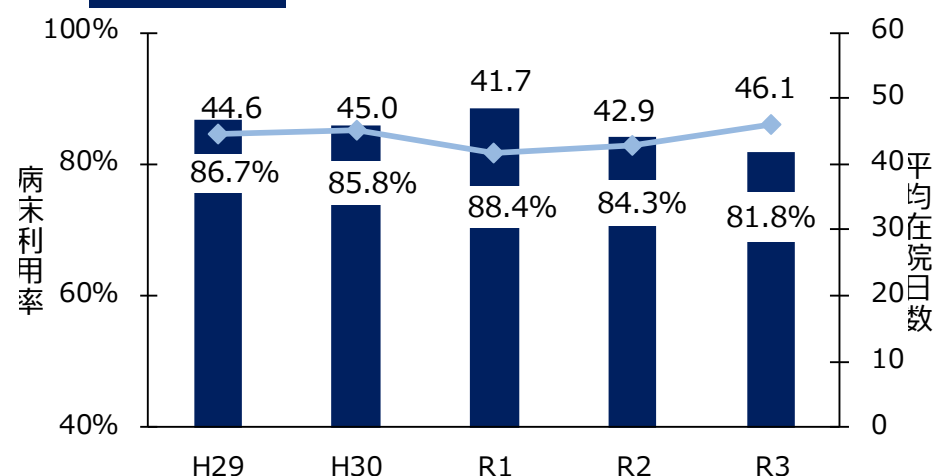
## 高度急性期



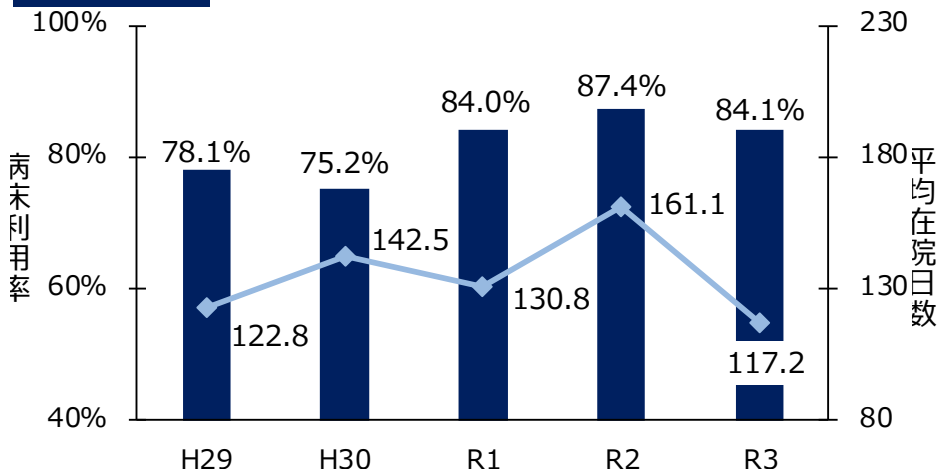
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

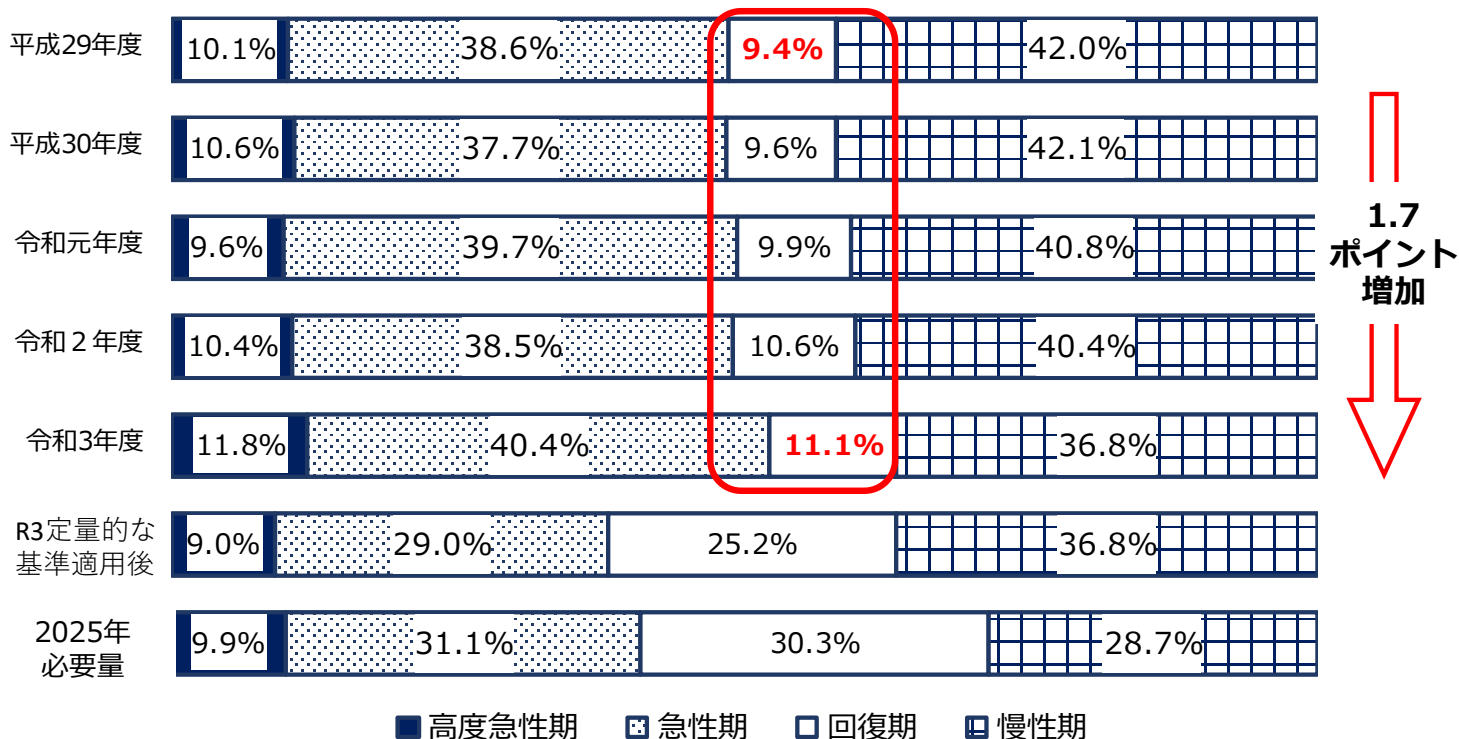
■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成

# 【北多摩北部】 病床の機能分化の進捗状況①

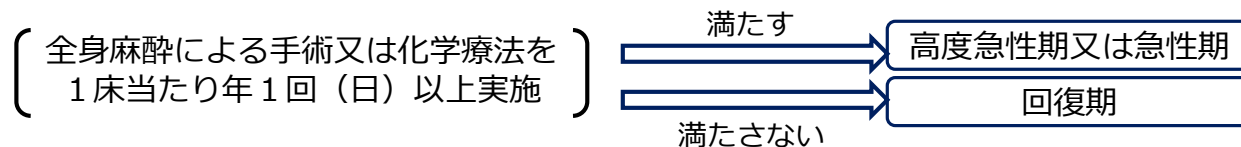
- 回復期機能の病床割合は、平成29年度に比べ令和3年度では 1.7ポイント増

病床機能別の病床数構成比（平成29年度～令和3年度）



注1 令和3年度は、速報値

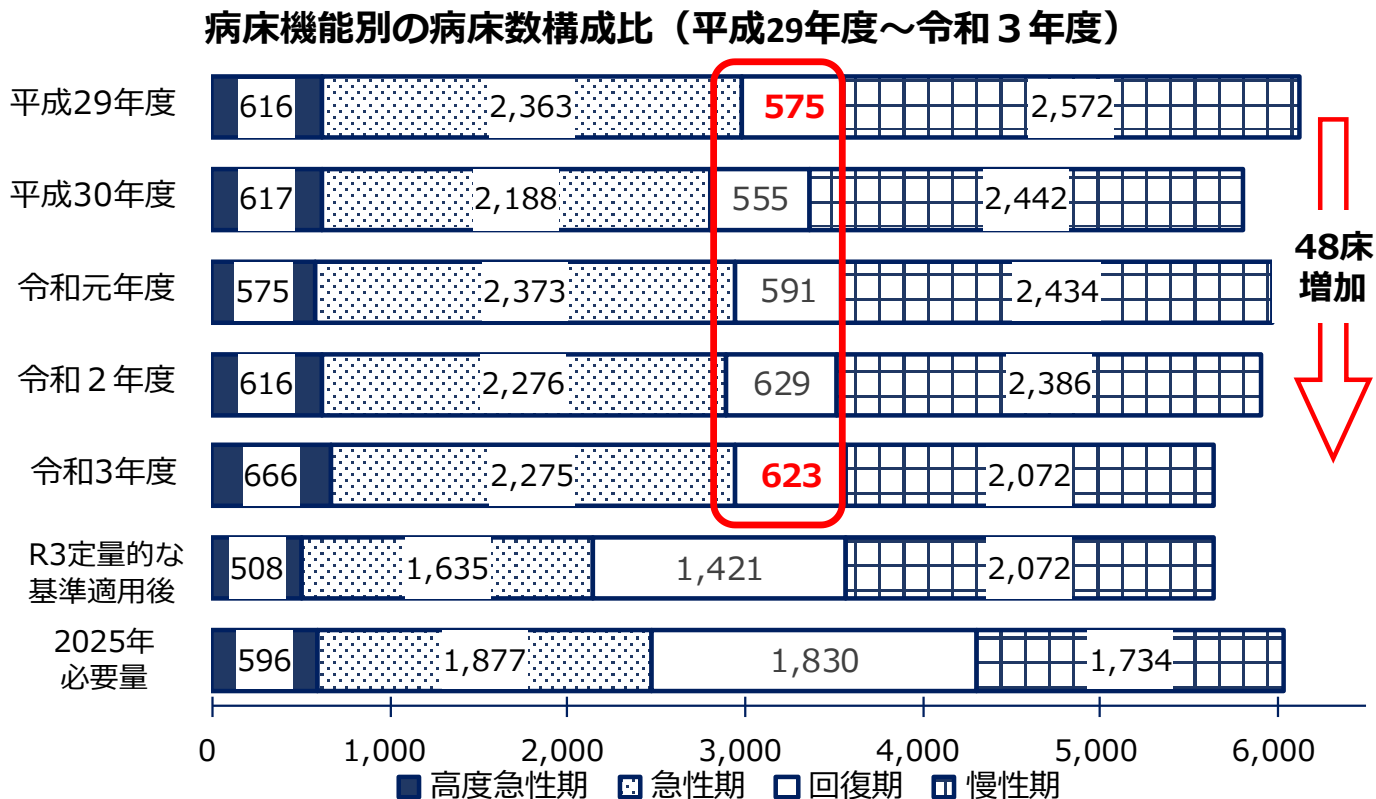
注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成

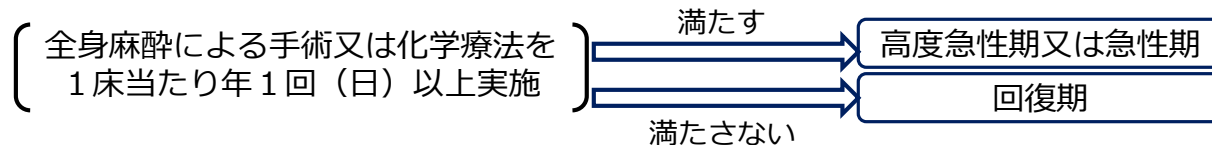
## 【北多摩北部】 病床の機能分化の進捗状況②

- 回復期機能の病床数は、平成29年度に比べ令和3年度では 48床増



注1 令和3年度は、速報値

注2 「定量的な基準適用後」は、全身麻酔による手術又は化学療法の実績に基づき、高度急性期又は急性期と報告された病床を再分類し、集計した数値



（出所）病床機能報告より作成



# 【北多摩北部】一般病床及び療養病床の状況

## 一般病床

## 療養病床

### 救命救急入院料

入院料 2 0施設 0床 入院料 1 1施設 20床  
入院料 4 0施設 0床 入院料 3 0施設 0床

### 特定集中治療室管理料

管理料 1 1施設 8床  
管理料 2 0施設 0床  
管理料 3 0施設 0床  
管理料 4 0施設 0床

### ハイケアユニット 入院医療管理料

管理料 1 6施設 64床  
管理料 2 0施設 0床

### 小児特定集中 治療室管理料

0施設 0床

### 脳卒中ケアユニット 入院医療管理料

1施設 12床

### 総合周産期特定集中治療室管理料

母胎・胎児 1施設 3床  
新生児 0施設 0床

### 新生児特定集中治療室 管理料

管理料 1 0施設 0床  
管理料 2 1施設 6床

### 新生児治療回復室 入院医療管理料

1施設 12床

### 特定機能病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 専門病院入院基本料

7対1 0施設 0床

### 急性期一般入院料 1

7施設 1,345床

**7施設1,345床**

### 急性期一般入院料 2～7

8施設 885床

### 地域一般入院料

入院料1・2 3施設 103床  
入院料 3 5施設 211床

### 小児入院医療管理料

入院料 1 0施設 0床  
入院料 2 2施設 58床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 回復期リハビリテーション病棟入院料

入院料 1 4施設 209床 入院料 4 2施設 100床  
入院料 2 1施設 60床 入院料 5 1施設 16床  
入院料 3 1施設 33床 入院料 6 0施設 0床

### 地域包括ケア病棟入院料・入院医療管理料

入院料 1 5施設 135床 入院料 3 1施設 22床  
入院料 2 2施設 24床 入院料 4 0施設 0床

### 緩和ケア病棟入院料

入院料 1 1施設 20床  
入院料 2 2施設 51床

### 障害者施設等入院基本料

入院料 1 1施設 139床  
入院料 2 4施設 238床  
入院料 3 0施設 0床  
入院料 4 0施設 0床

### 特殊疾患病棟入院料

0施設 0床

### 有床診療所入院基本料

5施設 82床

### 療養病棟入院基本料

基本料 1 11施設 997床  
基本料 2 1施設 74床

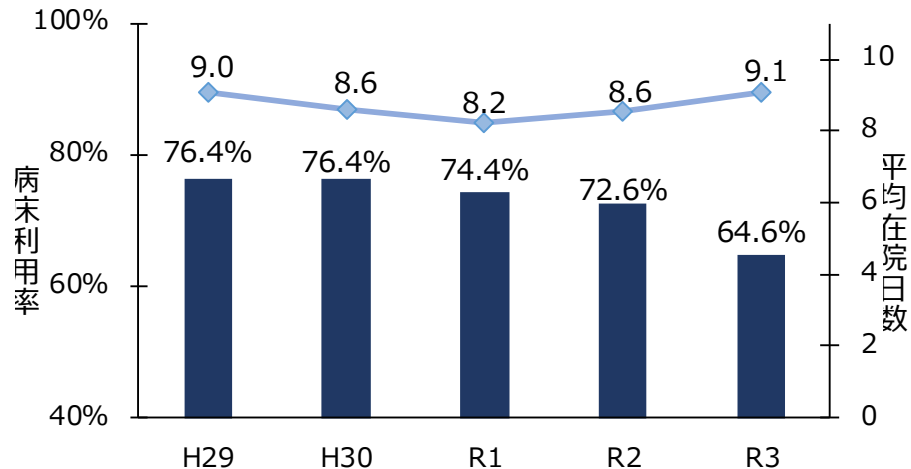
### 有床診療所療養病床入院基本料

0施設 0床

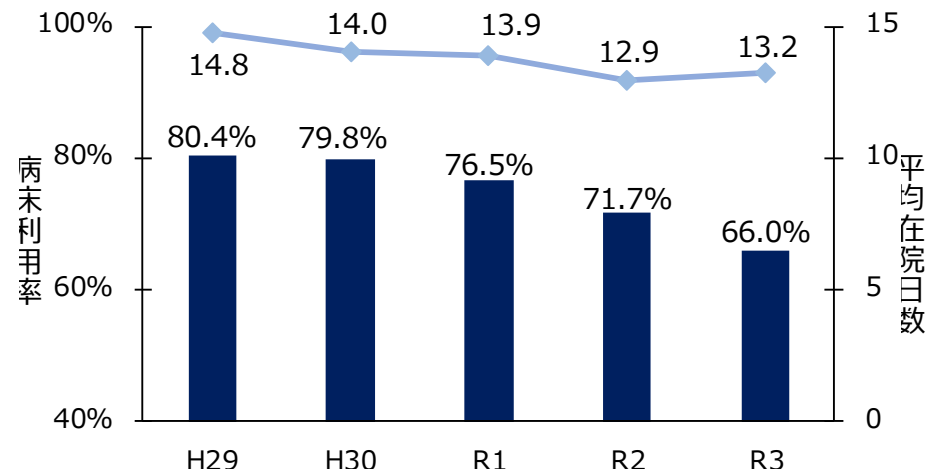
**DPC/PDCS 9施設2,025床**

# 【北多摩北部】機能別の病床利用率・平均在院日数の推移

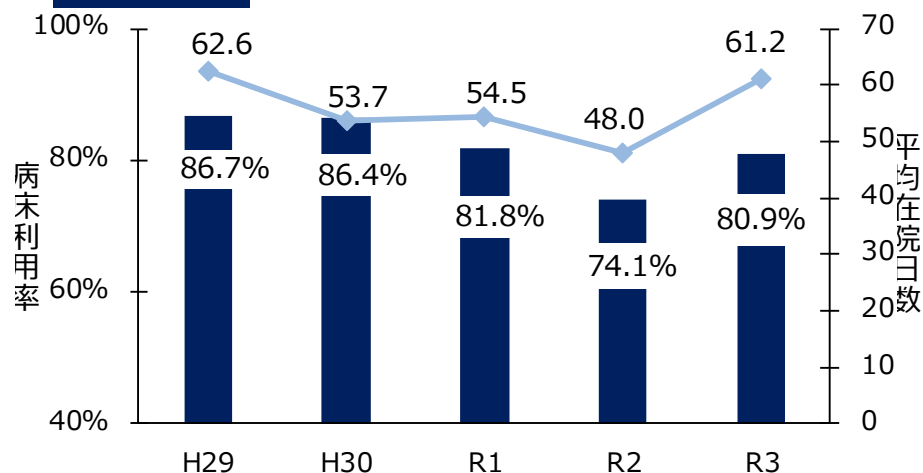
## 高度急性期



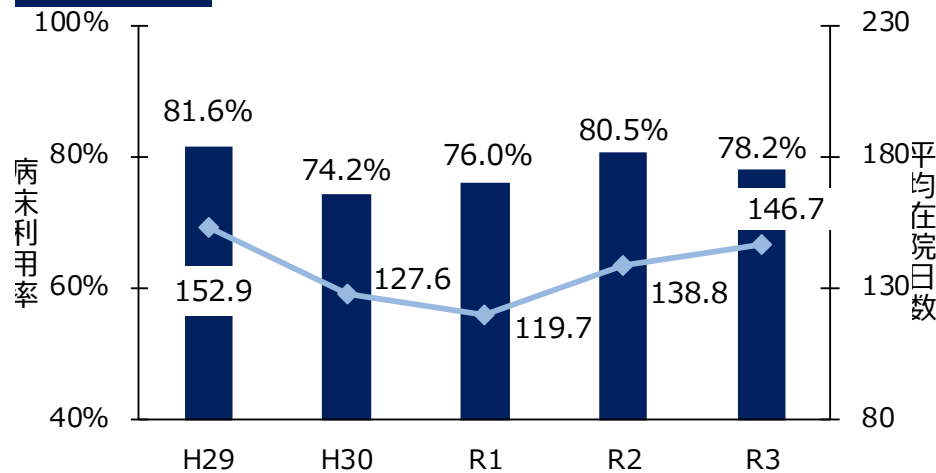
## 急性期



## 回復期



## 慢性期



注 平成29年度報告～令和2年度報告は、報告前年度7月1日～報告年度6月30日、令和3年度報告は、令和2年4月1日～令和3年3月31日の数値

病床利用率 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（許可病床数）} \times \text{年間日数}} \times 100$

平均在院日数 =  $\frac{\text{在棟患者延べ数（毎日24時現在の在棟患者数+毎日の退院患者数）}}{\text{（新規入棟患者数+退棟患者数）} \times 1/2}$

■ 病床利用率  
◆ 平均在院日数 (右軸)

(出所) 病床機能報告より作成